別紙 3-1

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

771 D I		<u> </u>		切りりり且切り	加 连 加 40	(快旦貝)
考查項目	細 別	а	b	С	d	е
2. 施工状況	I. 施工管理	□ 施工管理が優れている。	□ 施工管理がやや優れている。	■ 他の評価に該当しない。	□ 施工管理がやや劣っている。	□ 施工管理が劣っている。
	0%	評価対象項目 (赤字の項目は必須評価が象項目 (赤字の項目は必須評価が象項目 (赤字の項目は必須評価がのでは、	対象項目) ・	れている。(※ 施工プロ 31) と、設計図書の内容及び現場 35、36) ことが確認できる。(※施工プロ 34) 医更計画書を提出していることが 6。(※施工プロ37) プロ38) 施工プロ 45,46) ことが確認できる。 6。 つたって行っていることが確認できる。) (し、比率(%)で評価する。		□ 施工体制一般に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 上記該当事項があれば・・・e

別紙 3-2-1

丁事成績採点の考香項目の考香項目別運用表

別私 3-2-1					休息の写直	切り 万 宜	垻 日 別 連 用 :	衣 (快生貝)
考查項目	細 別	a	a'	b	b'	С	d	е
3. 出来形及び 出来ばえ	I. 出来形	出来形の測定が、必要な測定 項目について所定の測定基準に基づき行われており、ば 値が規格値を満足し、ばりの きが小さく(規格値に上下限 値がある場合は、概和50%以 内)、下記の「評定対象項 目」のうち4項目以上が該当 する。	出来形の測定が、必要な 測定項目についっき行われ で項目に対っき行われ でありまではでいる規格が 地定項目に対しております。 別定値がき規格が に対したではでいるでは、 がある下記の「評定対象 項目」、のうち3項目以上が 該当する。	出来形の測定が、必要な 測定項目に基づき行われ ており、測定値が規格値 を満足するが、低だらい でおり(規格値に上下限値がある場合は、概ね80% 以内)、下記の「評定対 象項目」のうち3項目以上 が該当する。	出来形の測定が、必要な 測定項目について所定の 測定基準に基づき行われ ており、測定値が規格値 を満足するが、値に一下限 値がある場合は、概ね80% 以内)、下記の「評定対 象項目」のうち2項目以上 が該当する。	出来形の測定が、必要 な測定項目についてき な測定項目に基づき 行われておき 行われておき が規格値を満足する が、ばらつきが大き く、a~b'に該当しな い。	□ 出来形管理がやや劣っ ている。	□ 出来形管理が劣っている。
	●土木	③出来形管理とは、「土木 形状寸法を確保する管理 ④出来形管理項目を設定し	ジ管理表に創意工夫がある。 、管理している。 下可視部分が写真で的確に判断 は、時期、頻度を満足している。 おれていない工種について、監 値で整理が行き届いている。 4参照。 して評定するものとする。 示された工事目的物の形状寸 工事施工管理基準」の測定項目 体系である。 ていない工事は「c」評価とす 術提案されている事項について、 が提案されている事項について、 が構築されている事項について、 が提案されている事項について、	できる。。 。 督員と協議の上で管理されてい 生である。 目、測定基準及び規格値に基づる。	○ a'bより優 ○ b 出来形管 ○ b'cより優 ● c 他の評価 ○ d 出来形管 ○ e 出来形管	理がやや優れている。 れている。	□ 出来形の測定方法又は しく低値が不適切で あったため、監督員が 文書で指示を行い改善 された。	□ 出来形の測定方法又は 測定値が不適切であっ たため、検査員が不合 格による修補指示を 行った。

別紙 3-2-2

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

考查項目 細 别 d □ 出来形管理が優れてい る。 □出来形管理がやや優れ □出来形管理がやや劣っ □出来形管理が劣ってい ■ 他の評価に該当しない。 出来形及び 3. 出来ばえ I. 出来形 □ bより優れている。 □ cより優れている。 ている。 ている。 る。 機械設備・電気 「評価対象項目」 □ □ 01 据付に関する出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図などを工夫していることが確認できる。 □ 出来形の測定方法又は □ 出来形の測定方法又は □ □ 02 設備全般にわたり、形状及び寸法の実測値が許容範囲内であり、出来形の確認ができる。 測定値が不適切であっ 測定値が不適切であっ □□03機器等の測定(試験)結果が、その都度管理図表などに記録され、適切に管理していることが確認できる。 たため、監督員が文書 たため、検査員が不合 で指示を行い改善され 0% □ □ 04 施工管理基準の撮影記録が撮影基準を満足し、出来形の確認ができる。 格による修補指示を □ □ 05 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督職員と協議の上で管理していることが確認できる。 行った。 □ □ 06 不可視部分の出来形が写真で確認できる。 □ □ 07 塗装管理基準等の塗膜厚管理が適切にまとめられており、出来形の確認ができる。 □ 08 溶接管理基準等の出来形管理が適切にまとめられており、出来形の確認ができる。 □ □ 09 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。 □ □ 10 設計図書に定められている予備品に不足が無いことが確認できる。 □□11分解整備における既設部品等の摩耗、損傷等について、整備前と整備後の老化状況及び回復状況が図表等に記録。 □□12設備の据付、固定方法が、設計図書又は承諾図書のとおり施工していることが確認できる。 □□13配管及び配線が設計図書又は承諾図書通り敷設していることが確認できる。 □□14測定機器のキャリブレーションを定期的に実施していることが確認できる。 □□15行先などを表示した名札がケーブルなどに分かり易く堅固に取り付けている。 □ □ 16 配管及び配線の支持間隔や絶縁抵抗等について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ □ 17 その他(理由: ※評価項目に加える場合は、必ず理由を記入する。 評価方法 ①評価の対象項目とする場合は、左口にレマークをいれること。 ②左口をチェックした評価項目数を母数とし、右口をチェックした評価項目数を分子とし、比率(%)で評価する。 ③評価値(%)=(レ)評価数/(レ)対象評価項目数 ④なお、左口をチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。 判断基準 評価値が90%以上 • • • a • • • a' 評価値が80%以上90%未満 評価値が70%以上80%未満 . . . b 評価値が60%以上70%未満 · · · h' 評価値が60%未満 · · · c ※総合評価落札方式で技術提案されている事項については、当該項目から除外する。

別紙 3-2-3

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

							•	(八五八)
考查項目	細 別	a	a'	b	b'	С	d	е
3. 出来形及び 出来ばえ	I. 出来形	□ 出来形管理が優れている。	□ bより優れている。	□ 出来形管理がやや優れ □ ている。	□ cより優れている。	■ 他の評価に該当しない。	□ 出来形管理がやや劣っ ている。	□ 出来形管理が劣ってい □ る
	建築工事 0%	評価方法 ①評価の対象項目とする ②左口をチェックした評価 ③評価値(%)=(レ)評 ④なお、左口をチェックし 判断基準 評価値が90%以上 評価値が80%以上90% 評価値が70%以上80% 評価値が60%以上70% 評価値が60%以上70% 評価値が60%未満	事を満足していることが確認で 流通切であり、出、海球のない、出、海球のない。 が設計図書を満足し、的確に確能 を形が、工事写真計図書の任何 が設計図書を満足し、の確に確能 特度の高い出来形とな理ができるように、出来形管等が確 きるように、出来形管等が確 場合は、必ず理由を記入する。 場合は、必ず理由を記入する。 場合は、左口にレマークをいれる 項目数を母数とし、右口をチェッ 価数/(レ)対象評価項目数 た評価項目数が2項目以下の場 未満	できる。 記できる。 温工であることが確認できる。 まできる。 まできる。 まを満足していることが確認できる。 またされていることが確認できる。 認でき、処分が適切であるこ ないた評価項目数を分子とし、比合はC評価とする。	る。とが確認できる。		□ 出来形の測定方法又は 測定値が不適切であっ たため、監督員が文書 で指示を行い、改善さ れた。	□ 出来形の測定方法又は 測定値が不適切であっ たため、検査員が不合 格による修補指示を 行った。

考查項目	細別	a	a'	b	b'	С	d	е
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅱ. 品質	□ 品質管理が優れている。	□ bより優れている。	□ 品質管理がやや優れて いる。	□ cより優れている。	■ 他の評価に該当しな い。	□ 品質関係がやや不適切 である。	□ 品質関係が不適切であ る。
	道路改良工事)きと評価対象項目の履行状況 F理基準、その他設計図書に定&	らられた試験】※ばらつきの判	断は別紙ー4参照	ばらつきを考慮しない。	□ 品質関係の測定方法又 は測定値が不適切で あったため、監督員が 文書で指示を行い改善 された。	□ 品質関係の測定方法又 は測定値が不適切でで あったため、検査員が 不合格による修補指示 を行った。
	0%	【土工事】 □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	「切に行われていることが確認できた。	できる。 これではいます。 これではいまするではいます。 これではいます。 これではいます。 これではいます。 これではいます。 これではいます。 これではいまするではいます。 これではいまするではいます。 これではいまするではいます。 これではいまするではいます。 これではいまするではいまするではいます。 これではいまするではい	ことが確認できる。 ンクリートの規格(強度・w/c きる。 帝固、養生方法等を適切に行っ しを行なっていることが確認で きる。 とが確認できる。 されていることが確認できる。	でいることが 【判断基準】 90%以上 90%以上 75%以上90%未満 60%以上75%未満 60%未満 60%未満 20%未満 20%まます。 注意統約は、表面 20%まます。 まままままままままままままままままままままままままままままままままま	ばらつきで半断可能 50%以下 80%以下 80%以下 80%を超える a' b b' b' c b' c c (等が少なくばらつぎの判断が出くば呼価値) だけで判断する。	b b' c
	Ⅲ. 出来ばえ 道路改良工事	□ 仕上げがきめ細かく、全体 □ 的に優れている。 「評価対象項目」		仕上げがきめ細かく、全 体的にやや優れている。		□ 他の事項に該当しな い。	■ 仕上げが悪く、全体的 に劣っている。	
		□ 01 土工の通り、仕上げが □ 02 コンクリート構造物の □ 03 小構造物にも細心の注	通り、表面状態が良い。 意が払われ、きめ細やかな施コ リート(モルタル)吹付け等σ かけや端部処理が良い。			該当項目5項目 該当項目4項目	· · · · a · · · · b · · · · c · · · · d	

考查項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e								
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅱ. 品質	品質管理が優れてい る。	□ bより優れている。	□ 品質管理がやや優れている。	□ cより優れている。	■ 他の評価に該当しない。	□ 品質関係がやや不適切 である。	- 品質関係が不適切であ る。								
	コンクリート 構造物工事		のきと評価対象項目の履行状形 管理基準、その他設計図書に定	【 【(評価値)から判断する。<* どめられた試験】※ばらつきの* %以下。	判断は別紙-4参照	ばらつきを考慮しない。	□ 品質関係の測定方法又 は測定値が不適切で あったため、監督員が 文書で指示を行い改善 された。	□ 品質関係の測定方法又 は測定値が不適切で あったため、検査員が 不合格による修補指示 を行った。								
	0%	量等)が確かできる。の2コンクリート供送象フリート供送象フリート供送象フリート供送象フリートは、 (3コンクリート (4 を) カート (5 コンクリート (7 を) カート (7 を)	□ 01 設計図書に基づくコンクリートの配合試験、又は試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格(強度・w/c・最大骨材粒径・塩基総量等)が確認できる。 (JISA-5308 以外の生コンを使用する場合) 02 コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 03 コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 04 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、バイブレータによる締固、養生方法等を適切に行っていることが確認できる。 (寒中及び暑中ュ ウウー\等を含む) 05 コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠、支保工の取り外しを行なっていることが確認できる。 06 コンクリート打設前に、打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。 07 鉄筋の引っ張り強度・曲げ強度の試験値が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 09 コンクリート打設までの鉄筋の保管管理が適正で、鉄筋の組立・加工が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 10 圧接作業に当たり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 11 スペーサーの品質及び個数が設計図書の仕様を満足しており、スペーサーを適切に配置し、鉄筋のかぶりを確保していることが確認できる。 12 有害なクラックが無い。													
		②左口をチェックした評価 ③評価値(%)=(レ)評 ④なお、左口をチェックし	場合は、左口にレマークをいれる 項目数を母数とし、右口をチェッ 価数/(レ)対象評価項目数 た評価項目数が2項目以下の場 「提案されている事項について	I i S つきで半断可能 50%以下 80%以下 80%を超える a b b c b c c c c c c	b b' c c											
	Ⅲ. 出来ばえ コンクリート 構造物工事	世上げがきめ細かく、全体 的に優れている。 「評価対象項目」 □ 01 コンクリート構造物の □ 02 コンクリート構造物の □ 03 天端仕上げ、端部仕」 □ 04 クラックがない。 □ 05 漏水がない。 □ 06 全体的な美観が良い。)通りが良い。	□ 仕上げがきめ細かく、全 体的にやや優れている。		該当項目4項目 該当項目3項目	■ 仕上げが悪く、全体的 に劣っている。 ・・・ a ・・・ b ・・・ c									

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検査員)

考查項目 細 別 d □ 品質管理がやや優れて いる。 □ 品質管理が優れてい る。 ■ 他の評価に該当しない。 □ 品質関係がやや不適切である。 □ 品質関係が不適切である。 出来形及び 3. 出来ばえ Ⅱ. 品質 □ bより優れている。 □ cより優れている。 十工事 ●品質関係の、ばらつきの判定。 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> □ 品質関係の測定方法又 一盛土工事 □ 品質関係の測定方法又 築堤工事 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】※ばらつきの判断は別紙-4参照 は測定値が不適切で は測定値が不適切で あったため、監督員が あったため、検査員が O ばらつきが50%以下。 〇 ばらつきが80%を超える。 文書で指示を行い改善 不合格による修補指示 びよのきが80%以下。 ● ばらつきを考慮しない。 された。 を行った。 「評価対象項目」 □ □ 01 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。 □ □ 02 段切り等が施工前に適切に行われていることが確認できる。 0% □□03置き換えのための掘削を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。 □ □ 04 締固めを適切な条件で施工していることが確認できる。 □ □ 05 一層あたりのまき出し厚を管理していることが確認できる。 □□06 芝付け、又は種子吹付等を設計図書に定められた条件で適切に行っていることが確認できる。 □□ 07 構造物周辺の締め固め等の処理を適正に行っていることが確認できる。 □ □ 08 十羽工の十質が適正であることが確認できる。 □ □ 09 CBR 試験等を行っていることが確認できる。 □ □ 10 法面に有害なクラックや損傷がない。 【判断基準】 □ □ 11 伐開除根作業が設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 ばらつき ばらつきで判断可能 で判断不 50%以下 80%以下 80%を超える 可能 ①評価の対象項目とする場合は、左口にレマークをいれること。 90%以上 а b ②左口をチェックした評価項目数を母数とし、右口をチェックした評価項目数を分子とし、比率(%)で評価する。 評 75%以上90%未満 a' b' b' h ③評価値(%)=(レ)評価数/(レ)対象評価項目数 ④なお、左口をチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。 福 60%以上75%未満 b С 60%未満 С 注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合 ※総合評価落札方式で技術提案されている事項については、当該項目から除外する。 は、評価対象項目(評価値)だけで判断する。 □他の評価に該当しな □ 仕上げがきめ細かく、全体 的に優れている。 仕上げがきめ細かく、全 仕上げが悪く、全体的 Ⅲ. 出来ばえ □ 仕上りかっ〜~~~~ ... 体的にやや優れている。 に劣っている。 十工事 「評価対象項目」 □ 01 仕上げが良い。 一盛十工事 築堤工事 □ 02 通りが良い。 設定条件 . . . a □ 03 天端及び端部処理が良い。 該当項目4項目以上 □ 04 構造物へのすりつけ等が良い。 該当項目3項目 · · · b □ 05 全体的な美観が良い。 該当項目2項目 · · · c · · · d 該当項目1項目以下

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検査員) 考查項目 細 別 d □ 品質管理が優れてい る。 □ 品質管理がやや優れて いる。 ■ 他の評価に該当しない。 □ 品質関係がやや不適切である。 □ 品質関係が不適切である。 出来形及び 3. 出来ばえ Ⅱ. 品質 □ bより優れている。 □ cより優れている。 十工事 ●品質関係の、ばらつきの判定。 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> □ 品質関係の測定方法又 一切十工事 □ 品質関係の測定方法又 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】※ばらつきの判断は別紙-4参照 は測定値が不適切で は測定値が不適切で あったため、監督員が あったため、検査員が O ばらつきが50%以下。 〇 ばらつきが80%を超える。 文書で指示を行い改善 不合格による修補指示 びよのきが80%以下。 ● ばらつきを考慮しない。 された。 を行った。 「評価対象項目」 □ □ 01 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。 □ □ 02 段切り等が施工前に適切に行われていることが確認できる。 0% □ □ 03 置き換えのための掘削を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。 □ □ 04 締固めを適切な条件で施工していることが確認できる。 □ □ 05 一層あたりのまき出し厚を管理していることが確認できる。 □ □ 06 芝付け、又は種子吹付等を設計図書に定められた条件で適切に行っていることが確認できる。 □□ 07 構造物周辺の締め固め等の処理を適正に行っていることが確認できる。 □ □ 08 十羽工の十質が適正であることが確認できる。 □□09 CBR 試験等を行っていることが確認できる。 【判断基準】 □ □ 10 法面に有害なクラックや損傷がない。 ばらつき ばらつきで判断可能 □ □ 11 伐開除根作業が設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 で判断不 50%以下 80%以下 80%を超える 可能 90%以上 ①評価の対象項目とする場合は、左口にレマークをいれること。 а a' b b ②左口をチェックした評価項目数を母数とし、右口をチェックした評価項目数を分子とし、比率(%)で評価する。 評 75%以上90%未満 a' h' h b' ③評価値(%)=(レ)評価数/(レ)対象評価項目数 值 60%以上75%未満 h h' ④なお、左口をチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。 C C RN%未満 h' C C 注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合 ※総合評価落札方式で技術提案されている事項については、当該項目から除外する。 は、評価対象項目(評価値)だけで判断する。 仕上げがきめ細かく、 ■ 仕上げが悪く、全体的 仕上げがきめ細かく、 □ 他の評価に該当しない。 Ⅲ. 出来ばえ □ 全体的に優れている。 □ 全体的にやや優れてい に劣っている。 る。 十工事 「評価対象項目」 一切土工事 □ 01 規定された勾配が確保されている。 □ 02 法面の浮き石除去等、表面が適切に施工されている。 設定条件 □ 03 法面勾配の変化部には干渉部等を設け、適切に施工されている。 該当項目5項目以上 • • • a □ 04 施工面の木根等が確実に施工されている。 該当項目4項目 • • • b □ 05 施工面には滞水防止等の処理が適切に行われている。 該当項目3項目 · · · c □ 06 関係構造物等との取り合いが適切に行われている。 該当項目2項目以下 · · · d □ 07 残土等は適切に処理されている。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

考查項目	細 別	а	a'	b	b'	С		d		е
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅱ. 品質	□ 品質管理が優れてい □ る。	□ bより優れている。	□ 品質管理がやや優れて いる。	□ cより優れている。	■ 他の評価に該当しない。	□ 品質管理である。	がやや不適切	□ 品質管 ³ □ る。	理が不適切であ
	護岸・根固・ 水制工事		つきと評価対象項目の履行状況	【(評価値)から判断する。<* どめられた試験】※ばらつきの*	判断は別紙-4参照		は測定値あっただ	の測定方法又 が不適切で め、監督員が	□ 品質関係の測定方法」 は測定値が不適切で あったため、検査員》	
		○ ばらつきが50%以7	で。 0 ばらつきが80%	6以下。 O ばらつきた	バ80%を超える。 ●	ばらつきを考慮しない。	文書で指された。	示を行い改善	不合格! を行っ?	による修補指示 た。
	0%	「評価対象項目」 □ 01 施工基面が平滑に仕」 □ 02 裏込材、胴込めコンク □ 03 緑化ブロック、石積み ことが確認できる。 □ 04 石積(張) 工又は埋身	リートが充てん、又は締め固、法枠、かごマット等しの材料について、設計図書	めが充分で、空隙が生じていたで材料のかみ合わせ、又は連絡の仕様を満足していることが流	詰が適切で、裏込材の吸い出し	しの恐れがないように行ってい				
		□ □ 06 遮水シートが所定の帆□ □ 07 植生工で植生の種類、□ 08 根固工、水制工、洗皮□ □ 09 指定材料の品質が、記□ □ 11 基礎工において、掘り□ □ 11 コンクリートブロック	語で重ね合わせられ、端部処理 品質、配合、施工後の養生が ミエ、捨石工等で、材料の連結 E明書類で確認できる。 り過ぎが無く施工していること 学等を損傷無く設置していること							
		□ □ 12 施工にあたって、床場□ □ 13 有害なクラックが無V		除して施工していることが確認	忍できる。	【判断基準】	ばらつき	で判断可能	ばらつき	
		評価方法					50%以下 80%	以下 80%を超え	で判断不 る 可能	
		①評価の対象項目とする	場合は、左口にレマークをいれる	っこと。 クした評価項目数を分子とし、比	☆ (0/) ▽ 証 圧 士 7	90%以上	a a		b	
		③評価値(%)=(レ)評	価数/(レ)対象評価項目数		学(%)で計画する。	評 75%以上90%未満	a' k		b'	
		(4)なお、左口をチェックし	た評価項目数が2項目以下の場	合はC評価とする。 		値 60%以上75%未満 60%未満	b b		С	
		※ 総合評価落札方式で技術	が提案されている事項について	「は、当該項目から除外する。		注)試験結果の打点 は、評価対象項	数等が少なくばん	 うつきの判断が出	来ない場合	
	Ⅲ. 出来ばえ	□ 仕上げがきめ細かく、 全体的に優れている。		■ 仕上げかに劣って	悪く、全体的いる。					
	護岸・根固・ 水制工事	「評価対象項目」	つけが良い。			設定条件 該当項目3項目以上 該当項目2項目 該当項目1項目 該当項目なし	· · · a · · · b · · · c · · · d			

							`								
考查項目	細 別	a	a'	b	b'	С	d	e							
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅱ. 品質	□ 品質管理が優れてい る。	□ bより優れている。	□ 品質管理がやや優れて いる。	□ cより優れている。	■ 他の評価に該当しな い。	□ 品質管理がやや不道 □ である。	薗切 □ 品質管理が不適切である。							
	鋼橋工事 (RC床版工事は コンクリート構造物 に準ずる)		つきと評価対象項目の履行状況 管理基準、その他設計図書に定	R (評価値) から判断する。<* Eめられた試験】※ばらつきの* %以下。 O ばらつきぇ	判断は別紙-4参照	ばらつきを考慮しない。	□ 品質関係の測定方法 は測定値が不適切っ あったため、監督員 文書で指示を行いる された。	で は測定値が不適切で 員が あったため、検査員が							
		□ 02 溶接作業にあたり、イコ 03 溶接施工に係って施工に係ってを地工に係って生じたの 04 孔空けによ面が転合、生じ状態を表現の場合では、10 06 素地調整の場合では、10 08 塗料の品質が出荷証明 【架製 関係】 □ 09 ボルトの品質が出荷証明 【架製 関係】 □ 11 架設に用しての品の設備と、分検対していいるとり、12 現場塗装において、 12 現場塗装において、 12 現場塗装において、 1 評価方法 ①評価の対象項目とする	評価対象項目」 「場製作関係】 「0 1 額材の員数照合が証明書類(現物照合を含む)で確認されている。 「0 1 2 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っており、溶接材料の使用区分が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 「3 溶接体工に係る施工計画書を提出していることが確認できる。 「0 4 孔空けによって生じたまくれが削り取られているなど、きめ細かに製作しており、欠陥部の発生が見られないことが確認できる。 「0 6 素地調整の場合、第 1 種ケレン後 4 時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。 「0 6 素地調整の場合、第 1 種ケレン後 4 時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。 「0 7 塗料の空缶管理において、写真等で確実に空であることが確認できる。 「0 7 塗料の空缶管理において、写真等で確実に空であることが確認できる。 「1 9 まり 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1												
			案されている事項については、				b b' b' c 数等が少なくばらつきの判別 g(評価値) だけで判断する								
	Ⅲ. 出来ばえ	□ 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。		□ 仕上げがきめ細かく、全 体的にやや優れている。		□ 他の評価に該当しな い。	■ 仕上げが悪く、全体 に劣っている。	的							
	鋼橋工事 (RC床版工事は コンクリート構造物 に準ずる)	「評価対象項目」 □ 01 表面に補修箇所がない □ 02 部材表面に傷、錆がが □ 03 溶接に均一性がある。 □ 04 塗装に均一性がある。 □ 05 全体的な美観が良い。	ない。			該当項目3項目 該当項目2項目	· · · · a · · · · b · · · · c · · · d								

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

考查項目	細 別	a	a'	b	b'	С	d	е
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅱ. 品質	□ 品質管理が優れてい □ る。	□ bより優れている。	□ 品質管理がやや優れて いる。	□ cより優れている。	■ 他の評価に該当しな い。	□ 品質関係がやや不適切 □ である。	□ 品質関係が不適切であ る。
	河川改良工事		つきと評価対象項目の履行状況 管理基準、その他設計図書に定	ばめられた試験】※ばらつきの当める。	判断は別紙-4参照	ばらつきを考慮しない。	□ 品質関係の測定方法又 は測定値が不適切で あったため、監督員が 文書で指示を行い改善 された。	□ 品慕う関係の測定方法 又は測定値が不適切で あったため、検査員が 不合格による修補指示 を行った。
	0%	□ □ 06 コンクリート打設時の □ □ 07 施工条件及び気象条件	適切に行われていることが確認 削を行うにあたり、掘削面以下 等の処理を適正に行っているこ レクリートの配合試験、又は試 (JISA-5308 以外の生コンを使 り必要な供試体を採取し、強度 中に適した運搬時間、打設時の			217 7/28		
		(寒中及び暑中コングリー 【護岸工事】 □ 08 施工基面が平滑に仕」 □ 09 プロック、石積み、金 □ □ 10 護岸工の端部や曲線・ □ □ 11 遮水シートが所定の・ □ □ 12 根固工、水制工、沈戸 【法面工事】 □ □ 13 ネット等の重ね幅が1 □ □ 14 使用する材料の品質を □ □ 15 吐列工の土質が均等でも □ □ 16 吹付け厚さが均等でも □ □ 17 アンカーを設計図でも □ □ 18 枠内に空隙がないこと □ □ 19 層間にはく離がないこと 【二次製品工事】	上げられていることが確認できみ 剛製法枠、かご等で材料のか適 那の処理・強度・水密性が適切 晶で重ね合わせられ、端部処理 末工、捨石工等で材料の連結、 Ocm以上確保されている。 見定証明書が確認できる。 だあることが確認できる。 どおりの長さで施工していることが確認できる。 とが確認できる。	び確認できる。				
		□ □ 20 施工基面が平滑に仕」 □ □ 21 二次製品との取り付け	上げられていることが確認でき ナ部コンクリート構造物にきめ	る。細やかな施工がうかがえる。		【判断基準】	ばらつきで判断可能	ばらつき
		評価方法 ①評価の対象項目とする ②左口をチェックした評価 ③評価値(%)=(レ)評 ④なお、左口をチェックし	50%以下 80%以下 80%を超え a a' b a' b b' c	で判断不 る 可能 b b'				
		※ 総合評価落札方式で技行	術提案されている事項について	「は、当該項目から除外する。			<mark> b' </mark>	□│□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
	Ⅲ. 出来ばえ	□ 仕上げがきめ細かく、全体 □ 的に優れている。		□ 仕上げがきめ細かく、全 体的にやや優れている。		□他の評価に該当しない。	仕上げが悪く、全体的 に劣っている。	
	河川改良工事	「評価対象項目」 □ 01 土工の通り、仕上げた	又は連結状況が良好である。 が良い。 つけが良い。			設定条件 該当項目 4 項目以上 該当項目 3 項目 該当項目 2 項目	· · · · a · · · · b · · · · c · · · · d	

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検査員)

考查項目 細 別 d □品質管理がやや不適切 □品質管理が不適切であ □ 品質管理がやや優れて いる。 □ 品質管理が優れてい る。 ■ 他の評価に該当しない。 出来形及び 3. 出来ばえ Ⅱ. 品質 □ bより優れている。 □ cより優れている。 である。 る。 地滑り工事 ●品質関係の、ばらつきの判定。 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> (承水路工事・ □ 品質関係の測定方法又 □ 品質関係の測定方法又 排水路工事) 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】※ばらつきの判断は別紙-4参照 は測定値が不適切で は測定値が不適切で あったため、監督員が あったため、検査員が びよつきが50%以下。 〇 ばらつきが80%を超える。 文書で指示を行い改善 不合格による修補指示 びよのきが80%以下。 ● ばらつきを考慮しない。 された。 を行った。 「評価対象項目 【工場製作関係】 □ □ 01 使用する材料の種類、品質及び配合が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 0% □□ 02 材料の品質が証明書類で確認できる。 □□ 03 施工基面が平滑に仕上げられていることが確認できる。 □□ 04 地形形状を考慮した施工がなされていることが確認できる。 □ □ 05 施設の出来あがりに凹凸がなく、丁寧に仕上げてあることが確認できる。 □□ 06 埋め戻しが十分締固められており、現況地形との取り付けがなじみよく施工がなされていることが確認できる。 【判断基準】 □□ 07 継目が仕様書等で示す条件により施工されていることが確認できる。 ばらつき ばらつきで判断可能 □□08 既設道路及び水路施設等との取り付けが、なじみよく施工がなされていることが確認できる。 で判断不 50%以下 80%以下 80%を超える 可能 評価方法 ①評価の対象項目とする場合は、左口にレマークをいれること。 90%LJ F a' b ②左口をチェックした評価項目数を母数とし、右口をチェックした評価項目数を分子とし、比率(%)で評価する。 評 75%以上90%未満 b' b' ③評価値(%)=(レ)評価数/(レ)対象評価項目数 価 ④なお、左口をチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。 値 60%以上75%未満 b' b С С RN%未満 h' 注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合 ※ 総合評価落札方式で技術提案されている事項については、当該項目から除外する。 は、評価対象項目(評価値)だけで判断する。 □他の評価に該当しな ■ 仕上げが悪く、全体的 □ 仕上げがきめ細かく、全 □ 仕上げがきめ細かく、全体 □ 的に優れている。 Ⅲ. 出来ばえ 体的にやや優れている。 に劣っている。 地滑り工事 「評価対象項目」 □ 01 コンクリート構造物の表面状態が良い。 (承水路工事・ 排水路工事) □ 02 クラックがない。 設定条件 □ 03 構造物の通りが良い。 該当項目6項目以上 • • • a □ 04 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 該当項目5項目 • • • b · · · c □ 05 法面の通りが良い。(施工管理記録等から、不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。) 該当項目4項目 □ 06 植生、吹き付け等の状態が均一である。 (排水処理が適切に実施されている。) 該当項目3項目以下 · · · d □ 07 法面の端部処理が良い。 (残土等は適切に処理されている。) □ 08 全体的な美観が良い 注)括弧内は集水井工工事に適用する

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

			- 7 /9 4 //2 5 4/1	· /// · · · · · · · ·	, , , , ,	· - /-	7 7 7 7					
考查項目	細 別	a	a'	b	b'		С		d			е
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅱ. 品質	□ 品質管理が優れてい □ る。	□ bより優れている。	□ 品質管理がやや優れて □ いる。	□ cより優れている。	■ 他の い。	評価に該当しな	口品質です	賃管理が や ある。	や不適切	□ 品質管 □ る。	理が不適切であ
	地滑り工事 (集水井工)		つきと評価対象項目の履行状況 管理基準、その他設計図書に定	2(評価値)から判断する。 < ½ まめられた試験】※ばらつきの る以下。	判断は別紙-4参照	ばらつきを	考慮しない。	は あっ 文書	則定値が不 ったため、	定方法又 適切で 監督員が 行い改善	は測定 あった	係の測定方法又 値が不適切で ため、検査員が による修補指示 た。
		【工場製作関係】 □□ 01 使用する材料の種類类 01 使用する材料の種類素 10 02 材料の品明書を 10 03 ライナ部で 10 04 ライナ部で 10 05 水抜き 10 07 梯子、 10 07 梯子、 10 07 梯子、 10 07 梯子、 10 07 横子 10 07 07 07 07 07 07 07 07 07 07 07 07 07	貝で確認でさる。 産実に固定できるように掘削が 土様書に示す深さごとに1枚ず 非水ボーリングが図面及び仕様 地山トの時間が小なくなるとも		50%以下 a a' b b' y等が少な	a' b b' c くばらつき	80%を超え。 b b' c c c	b b' c				
	Ⅲ. 出来ばえ	□ 仕上げがきめ細かく、全体 □ 的に優れている。		□ 仕上げがきめ細かく、全□ 体的にやや優れている。		□他のい。	評価に該当しな	■ 仕』	上げが悪く よっている	、全体的		
	地滑り工事 (集水井工)	□ 06 植生、吹き付け等のキ	とげ等が良い。 (施工管理記録等から、不可視 大態が均一である。(排水処理 い。(残土等は適切に処理され		がえる。)	該当項目 該当項目	5 項目 4 項目	• • • a • • • b • • • c • • • d			-	

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

考查項目	細 別	a	a'	b	b '		С		d		е				
3. 出来形及び 出来ばえ	II. 品質	□ 品質管理が優れてい □ る。	□ bより優れている。	□ 品質管理がやや優れて いる。	□ cより優れている。	■ 他 ⁽)、。	の評価に該当しな	口品質であ	賃管理がやや不 うる。	適切 □	品質管理が る。	「不適切であ			
	(水抜きボー リングエ) 0%	【関連基準、土木工事施工行 ○ ばらつきが50%以下 「評価対象項目」 □ □ 01 使用する材料の種類、 □ □ 02 材料の品質が証明書類 □ □ 03 孔口間隔が正確であり、 □ □ 04 集・排水ボーリングコ	つきと評価対象項目の履行状況 管理基準、その他設計図書に足 の ばらつきが809 品質及び配合が設計図書の仕 質で確認できる。 の、孔口の接続が丁寧に仕上け この方向、角度及び長さが適正	:様を満足していることが確認ってあることが確認できる。 :となるように施工上の配慮をし	判断は別紙−4参照 ¹ 80%を超える。 できる。 こていることが確認できる。		を考慮しない。	は _測 あっ 文書	質関係の測定方 別定値が不適切 ったため、監督 事で指示を行い いた。	で 員が	は測定値が あったため	測定方法又 が不検切で は不検 で が の が の が の が の で が で が る を 修 が る 修 を が る 修 を が る に る を を る を る を る を る を る を る を る を る			
		評価方法 ①評価の対象項目とする ②左口をチェックした評価 ③評価値(%)=(レ)評 ④なお、左口をチェックし;	①評価の対象項目とする場合は、左口にレマークをいれること。 ②左口をチェックした評価項目数を母数とし、右口をチェックした評価項目数を分子とし、比率(%)で評価する。 ③評価値(%)=(レ)評価数/(レ)対象評価項目数 ④なお、左口をチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。 90%以上 評価値 60%以上75%未満 60%未満 60%未満 200%を評価を対象と、当該項目から除外する。 ※ 総合評価落札方式で技術提案されている事項については、当該項目から除外する。 注)試験結果の打点数:								I				
	Ⅲ. 出来ばえ 地滑り工事 (水抜きボー リングエ)	□ 仕上げがきめ細かく、全体 □ 的に優れている。 「評価対象項目」 □ 01 地山との取り合いが月 □ 02 天端、端部処理が良り □ 03 施工管理記録等からる □ 04 排水処理が適切に実施 □ 05 通りがよく全体的な美	しい。 へ。 ▽可視部分の出来ばえの良さが 重されている。	□ 仕上げがきめ細かく、全 体的にやや優れている。 ぶうかがえる。		設定条件 該当項 該当項 該当項	[目4項目以上 [目3項目 [目2項目	■ 仕上 に学 ・・・ a ・・・ b ・・・ c	上げが悪く、全 ちっている。	体的					

(検査員)

考查項目	細 別	a a'		b	b'	c	d		e						
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅱ. 品質	□ 品質管理が優れてい □ る。	□ bより優れている。	□ 品質管理がやや優れて いる。	□ cより優れている。	■ 他の評価に該当しない。	□ 品質関係な	びやや不適切	□ 品質関係が不適切である。						
	地滑り工事 (治山渓間工・ 堰堤工・床止工)	【関連基準、土木工事施工行 ○ ばらつきが50%以7	つきと評価対象項目の履行状況 管理基準、その他設計図書に定	2(評価値)から判断する。 < * 注められた試験】※ばらつきの* 6以下。	判断は別紙-4参照	ばらつきを考慮しない。	あったたと	り測定方法又 が不適切で か、監督員が たを行い改善	は測定しあった	系の測定方法又 直が不適切で ため、検査員が こよる修補指示 た。					
	0%	□ 02 設計図書に基づくる時の 量等)が確認と対対試験体系 ・ 03 コンクリリート供象外の ・ 05 施工条件のできる時の ・ 05 施工条件のできる時の ・ 07 コンクリリート状気をカン外部 ・ 08 基礎的というできる。 ・ 09 堀が発生を ・ 09 堀ンクリリート が配い ・ 09 堀ンクリリート が配い ・ 11 コンオパイプ等を ・ 13 排鉄線 ・ 13 非鉄線 ・ 14 アンカー ・ 13 非株線 ・ 14 アンカー ・ 15 が終れている ・ 16 が表れている ・ 17 が表れている ・ 18 が終れている ・ 18 が表れている ・ 18 がある ・ 18 がある	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□												
		②左口をチェックした評価 ③評価値(%)=(レ)評	場合は、左口にレマークをいれる 項目数を母数とし、右口をチェッ 価数/(レ)対象評価項目数 た評価項目数が2項目以下の場	クした評価項目数を分子とし、比	率(%)で評価する。	90%以上 175%以上90%未満 60%以上75%未満 60%未満	ばらつき 50%以下 80%以 a a' b b' b' c	で判断可能 下 80%を超え b b' c	ばらつき で判断不 る 可能 b b' c						
	Ⅲ . 出来ばえ	71 1 1 2 2 2 4m 2 2 A A	所提案されている事項について	_ 仕上げがきめ細かく、全		他の評価に該当しな	目(評価値)だけ 量 仕上げが弱	で判断する。 悪く、全体的	来ない場合						
	地滑り工事 (治山渓間エ・ 堰堤エ・床止エ)	□ 06 植生、吹き付け等のお	上げ等が良い。 (施工管理記録等から、不可視 (態が均一である。 (排水処理 、 (残土等は適切に処理され	一体的にやや後れている。部分の出来ばえの良さがうかが適切に実施されている。)	がえる。)	ひ。 設定条件 該当項目6項目以上 該当項目5項目 該当項目4項目 該当項目3項目以下	・・・ a ・・・ b ・・・ c	<i>ا</i>							

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

考查項目	細別	а	a,	h h	h,		c 77 <u>年</u> /11 弘	Ì	d			е
7 1 7 1	Wm 20.0	a	a	D	В		С		u			
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅱ. 品質	□ 品質管理が優れてい □ る。	□ bより優れている。	□ 品質管理がやや優れて いる。	□ cより優れている。	■他い	の評価に該当しな	□ 品;	質関係が <i>や</i> ある。	や不適切	□ 品質関の	系が不適切であ
	地滑り工事 (抑止杭工)		つきと評価対象項目の履行状形 管理基準、その他設計図書に定	は あ 文	質関係の測 則定値が不 ったたお示 を れた。	適切で 監督員が	又は測!	関係の測定方法 定値が不適切で ため、検査員が による修補指示 た。				
	0%	「評価対象項目」 □ 01 使用する材料の種類集型 □ 02 材料のも異対 部 明書 □ 03 抑止杭に損傷及めが補間 □ 04 抑止杭の指合管 □ 05 抑止杭の協心管理が信 □ □ 06 水平度、鉛質管理、あるいの □ 07 溶接の品 □ 08 杭の継手溶接 で □ □ 09 グラウト及び中処理 □ □ 01 グラウトの泥水処理に □ □ 01 グラウトの泥水処理に □ □ 01 グラウトの泥水処理に □ □ 01 グラウトの泥水処理に	質で確認できる。 変痕がないことを確認できる。 変現方法、又は場所打ち杭の施 能認できる。 許理基準値以内で施工されてい して、設計図書の仕様を満足しい は接続が丁寧に施工されて クリートが、丁寧に施工され	工管理方法が整備され、かつ、 ることが確認できる。 ていることが確認できる。 ることが確認できる。 ることが確認できる。 ていることが確認できる。			【判断基準】					
		□ □ 11 杭上の埋戻しが丁寧に	1施工されていることが確認で	きる。				۱ď	ばらつきで判断可能		ばらつき で判断不	
		評価方法								80%を超え	る 可能	
			場合は、左口にレマークをいれる		÷ (• () -=== == + =		90%以上	а	a'	b	b	
			埧目剱を母剱とし、石口をナェツ 価数/(レ)対象評価項目数	クした評価項目数を分子とし、比	率(%)で評価する。		評 75%以上90%未満	a'	b	b'	ь'	
			た評価項目数が2項目以下の場	合はC評価とする。			値 60%以上75%未満	b	ь'	С	С	
							60%未満	b'	С	С	С	
		※ 総合評価落札方式で技術	が提案されている事項について	「は、当該項目から除外する。		ı	注)試験結果の打点数 は、評価対象項[] (評価値)だけで判	断する。	,来ない場合	
	Ⅲ. 出来ばえ	□ 仕上げがきめ細かく、全体 的に優れている。		□ 仕上げがきめ細かく、全 体的にやや優れている。		口他い	の評価に該当しな 。	■仕に	上げが悪く 劣っている	、全体的		
	地滑り工事 (抑止杭工)	□ 06 植生、吹き付け等のお	- げ等が良い。 (施工管理記録等から、不可視 (態が均一である。 (排水処理 、 (残土等は適切に処理され		がえる。)	該当項 該当項	頁目6項目以上 頁目5項目 頁目4項目	• • • a • • • b • • • c • • • d				

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検査員)

考查項目 細 别 d е □ 品質管理がやや優れて いる。 □ 品質管理が優れてい る。 ■ 他の評価に該当しない。 □ 品質関係がやや不適切である。 □ 品質関係が不適切である。 出来形及び 3. 出来ばえ Ⅱ. 品質 □ bより優れている。 □ cより優れている。 地滑り工事 ●品質関係の、ばらつきの判定。 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> □ 品質関係の測定方法又 (アンカー工) □ 品質関係の測定方法又 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】※ばらつきの判断は別紙-4参照 は測定値が不適切で は測定値が不適切で あったため、監督員が あったため、検査員が 文書で指示を行い改善 不合格による修補指示 びよのきが50%以下。 びよのきが80%以下。 〇 ばらつきが80%を超える。 ● ばらつきを考慮しない。 された。 を行った。 「評価対象項目」 □ □ 01 使用する材料の種類、品質及び配合が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ □ 02 材料の品質が証明書類で確認できる。 0% □□03法面整形が丁寧に施工されている。 □□ 04 ラス張と地山の間に隙間がなく、丁寧に施工されている。 □□ 05 法枠が地山形状になじんだ施工となっている。 □□06アンカー工の施工が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 【判断基準】 □ □ 07 孔内のスライムが十分除去されている。 ばらつぎ □ □ 08 グラウトが十分に施工されていることが確認できる。 ばらつきで判断可能 で判断不 50%以下 80%以下 80%を超える 可能 評価方法 ①評価の対象項目とする場合は、左口にレマークをいれること。 90%12 E a' h h а ②左口をチェックした評価項目数を母数とし、右口をチェックした評価項目数を分子とし、比率(%)で評価する。 評 75%以上90%未満 a' b' b' h ③評価値(%)=(レ)評価数/(レ)対象評価項目数 ④なお、左口をチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。 值 |60%以上75%未満 С С b' 60%未満 注)試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合 ※総合評価落札方式で技術提案されている事項については、 当該項目から除外する は、評価対象項目(評価値)だけで判断する。 □他の事項に該当しな □ 仕上げがきめ細かく、全 □ 仕上げがきめ細かく、全体 いに美観が良い。 仕上げが悪く、全体的 Ⅲ. 出来ばえ 体的に美観が良い。 に美観が悪い。 地滑り工事 「評価対象項目」 (アンカー工) □ 01 コンクリート構造物の表面状態が良い。 □ 02 クラックがない。 設定条件 □ 03 構造物の通りが良い。 該当項目6項目以上 • • • a □ 04 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 該当項目5項目 · · · b □ 05 法面の通りが良い。(施工管理記録等から、不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。) · · · c 該当項目4項目 · · · d □ 06 植生、吹き付け等の状態が均一である。 (排水処理が適切に実施されている。) 該当項目3項目以下 □ 07 法面の端部処理が良い。 (残土等は適切に処理されている。) □ 08 全体的な美観が良い。 注)括弧内は集水井工工事に適用する

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

考查項目	細 別	a	a '	b	b '	С	d	е
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅱ. 品質	□ 品質管理が優れてい □ る。	□ bより優れている。	□ 品質管理がやや優れて いる。	□ cより優れている。	■ 他の評価に該当しな い。	□ 品質管理がやや不適切 □ である。	□ 品質管理が不適切であ る。
	舗装工事		つきと評価対象項目の履行状況 管理基準、その他設計図書に定	□ 品質関係の測定方法又 は測定値が不適切で あったため、監督員が 文書で指示を行い改善 された。	□ 品質関係の測定方法又 は測定値が不適切で あったため、検査員が 不合格による修補指示 を行った。			
	0%	「評価対象項目」 【路床・路盤工関係】 □ □ 01 施工に先立ち、CBF □ □ 02 路床及び路盤工のプバ □ □ 03 路盤の安定処理は材料 □ □ 04 路盤の施工に先立って □ □ 05 路床盛土において、一 が、タンパ等の小型約 【7スファル〉舗装工関係】	νフローリングを行っており、 ネが均一になるよう施工してい こ、路床面、下層路盤面の浮き					
		□ □ 06 設計図書に基づく混合 の適用工事は除く) □ □ 07 舗装工の施工にあた 08 混合物の温度管理によ □ □ 09 舗設後、直ちに供用 □ □ 10 舗装の各層の継ぎ目の	って、上層路盤面の浮き石など おいて、プラント出荷時・現場 この必要のある現場においては り位置を仕様書に定められた数 よりであることが確認できる。	の有害物を除去していることが 到着時・舗設時等で整理・記録 、交通解放が定められた条件を 値以上にずらしており、縦継	が確認できる。 录されていることが確認できる と満足していることが確認できる 目及び横継目の位置、構造物と	5 さる。 この接合面の処理において、仕		
		できる。 【コンクリート舗装工関係】 □ 12 設計図書に基づくコン等)が確認できる。 □ 13 舗装工の施工に先だっ □ 14 コンクリート打設時のる。	/クリートの配合試験及び試験 (JISA-5308 以外の生コンを使 って、上層路盤の浮き石などの)必要な供試体を採取し、強度	練りが行われており、適切な 用する場合) 有害物を除去していることが ・スランプ・空気量等を測定し	コンクリートの規格(強度・w/ 値認できる。 」ており、供試体が当該現場の	/ c・最大骨材粒径・塩基総量 O供試体であることが確認でき		
		□ □ 15 施工条件及び気象条件 □ □ 16 材料が分離しないよう □ □ 17 チェアー、タイバー等	コンクリートを敷均している	ことが確認できる。	いることが確認できる。(寒中) 	及び暑中コンクリートを含む) <u>【判断基準】</u>		
		②左□をチェックした評価 ③評価値(%)=(レ)評	場合は、左口にレマークをいれる 項目数を母数とし、右口をチェッ 価数/(レ)対象評価項目数 た評価項目数が2項目以下の場	クした評価項目数を分子とし、比	率(%)で評価する。	90%以上 評 75%以上90%未満	ばらつきで判断可能 50%以下 80%以下 80%を超え a a' b a' b b'	ばらつき で判断不 可能 b
			新提案されている事項について 			は、評価対象項目	b b' c c c な で な で	c c 出来ない場合
	Ⅲ. 出来ばえ	□ 仕上げがきめ細かく、全体 的に優れている。		□ 仕上げがきめ細かく、全 体的にやや優れている。		□ 他の評価に該当しな い。	■ 仕上げが悪く、全体的 に劣っている。	
	舗装工事	「評価対象項目」 □ 01 舗装の平坦性が良い。 □ 02 構造物の通りが良い。 □ 03 端部処理が良い。 □ 04 構造物へのすりつけ等 □ 05 雨水処理が良い。 □ 06 全体的な美観が良い。	等が良い。			該当項目4項目 該当項目3項目	· · · a · · · b · · · c · · · d	

考查項目	細別	a	a'	b	b '	С	d	е
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅱ. 品質	□ 品質管理が優れてい □ る。	□ bより優れている。	□ 品質管理がやや優れて いる。	□ cより優れている。	■ 他の評価に該当しな い。	□ 品質管理がやや不適切 □ である。	□ 品質管理が不適切であ る。
	海岸工事	●品質関係の、ばらつきの判別 品質関係の試験結果のばらっ 【関連基準、土木工事施工行 〇 ばらつきが50%以下 「評価対象項目」 【床堀(浚渫)工事】 □ □ 01 床堀(浚渫)にあたり、	□ 品質関係の測定方法又 は測定値が不適切で あったため、監督員が 文書で指示を行い改善 された。	□ 品質関係の測定方法又 は測定値が不適切で あったため、検査員が 不合格による修補指示 を行った。				
		□ □ 02 床堀(浚渫)土砂処分に【帆布・マット工事】 □ 03 帆布・マットが損傷傷間 □ 0 04 帆布・マットが損傷質 [捨石工事] □ 0 06 捨石、被覆程など材固 □ 06 捨石、被でで 0 07 捨石工事】 □ 0 08 異型型ブロック等のの型型ブロック与等のコとる □ 11 設計書に確正 ツックラ等のコとる 11 設計書に確正 15 ブロック 財子 がらの 12 異型ブロック 場別 異型ブロック 場別 異型ブロック 13 異型ブロック 13 異型ブロック 14 異型ブロック 15 ブロック 15 ブロック 15 ボール 15	まく施工され、記録により確認 正明が書類により確認できる。 みの規格・品質が試験成績表等 も石がゆるみのないように堅い た、支保工の取条件に適しと を、大きにあたり気無体験、の生に適した。 なりし面が平坦に仕上げられて、 を、大きにあたりの供試体験、ではは でクリートの配合試験が、生は当験 でがしたた立ロックの仮と置に作った。 がお付に先立ロックの仮と関係である。 ではいて、である。 ではいて、である。 ではいて、である。 ではいて、である。 ではいて、である。 ではいて、である。 ではいて、である。 ではいて、である。 ではいていることでは、 には、ことでは、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 に	できる。 (現物照合を含む)により確認に施工とりできる。 に施工が記録によりではいることが記録によりで開始度をつぎませない。 は大けいたが記録によりの圧縮強度をできる。 は大けいたが記録をする場合という。 は大けいているでは、無いでは、転倒のでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないのでは、	忍できる。できる。 できる。 る。 里し必要な強度達した後に行ないることが確認できる。 コンクリートの規格(強度、W 所定の精度で行われていることが確認できる。 れがないことが確認できる。 れていることが確認できる。	なっていることが確認できる。 V/C,最大骨材粒径、塩基総 とが確認できる。 【判断基準】 (判断基準】 90%以上 F評価値 60%以上75%未満 60%以上75%未満 60%以上75%未満	ばらつきで判断可能 50%以下 80%以下 80%を超え a a' b a' b b' c b' c	b b' c c
	Ⅲ . 出来ばえ	※ 総合評価落札方式で技術 位上げがきめ細かく、全体的に優れている。	が提案されている事項について	マ等が少なくばらつきの判断が出 (評価値)だけで判断する。 ■ 仕上げが悪く、全体的	出来ない場合			
	海岸工事	□ 的に優れている。 「評価対象項目」 □ 01 コンクリート構造物の □ 02 コンクリート構造物の □ 03 天端仕上げ、端部仕」 □ 04 クラックがない。	O肌が良い。 O通りが良い。	□ は上いからの畑がく、主体的にやや優れている。		該当項目2項目 該当項目1項目	■ に劣っている。・・・ a・・・ b・・・ c・・・ d	
						以口ではない	u J	

(検査員)

考查項目	細 別	a	a '	b	b '	С	d	е
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅱ. 品質	□ 品質管理が優れてい □ る。	□ bより優れている。	□ 品質管理がやや優れて いる。	□ cより優れている。	■ 他の評価に該当しな い。	□ 品質管理がやや不適切 □ である。	□ 品質管理が不適切であ □ る。
	法面工事	●品質関係の、ばらつきの判別 品質関係の試験結果のばらっ 【関連基準、土木工事施工作 ○ ばらつきが50%以7	□ 品質関係の測定方法又 は測定値が不適切で あったため、監督員が 文書で指示を行い改善	□ 品質関係の測定方法又 は測定値が不適切で あったため、検査員が 不合格による修補指示				
	0%	「評価対象項目」 【共通】 □ □ 01 施工基面が平滑に仕」 □ □ 02 施工に際して、品質し □ 03 盛土の施工にあたり、 □ □ 04 雨水による崩壊が起こ 【種子吹付工、客土吹付工、厚 □ □ 05 土壌試験を実施し、がが確認できる。 □ □ 07 吹付け厚さが均品質が定められた □ □ 09 施工時期が定められた 【センクリート文(ほを炒)吹付工】	ご害となる施工面の浮き石やゴ 法面の崩壊が起こらないよう。 こらないように、排水対策を実 層基材吹付工】 直工に反映していることが確認 如幅が10cm以上確保されている。必要な場合2層以上に分、 見定証明書が整備されており、	された。	を行った。			
		□□10金網等の重ね幅が10 □□11吸水性ので付け厚さが均等で質別 □□13使用する材料の適切に □□13使用する材料の適切に □□15法肩の吹付けに長さり □□17現場養生が適切に行え 【現場打法枠工】□□18枠内に空隙がなく、尾 □□19跳れ返り材料が適切に □□20使用する材料の品グラ 【落石防止工】	いて、事前に吸水させてからり、必要な場合2層以上に分見定証明書が整備されておりいた。 上処理されていることが確認ではいまり、一次地山におけいる一番を見さき込んで施工の、地山にといるできる。 が設計図書どおりの長さできる。 日間にはく離がないことが確認で、上の理されていることが確認で、とが確認で、上の理されていることが確認で、の理されていることが確認で、別定証明書が整備されており、その表別では、引張強度が設計条件を表別である。		ばらつきで判断可能	ばらつき		
		②左口をチェックした評価 ③評価値(%)=(レ)評 ④なお、左口をチェックし	整部・連結部の固定が確実で、場合は、左口にレマークをいれる項目数を母数とし、右口をチェッ価数/(レ)対象評価項目数た評価項目数が2項目以下の場所提案されている事項について	50%以下 80%以下 80%を超え a a' b b' c b' c c c c c c c c c c c c c c c c c c	で判断不 可能 b b' c			
	Ⅲ. 出来ばえ	□ 仕上げがきめ細かく、全体 的に優れている。		■ 仕上げが悪く、全体的 に劣っている。				
	法面工事	「評価対象項目」 □ 01 通りが良い。 □ 02 植生、吹付等の状態が □ 03 端部処理が良い。 □ 04 全体的な美観が良い。	が均一である。			該当項目2項目 該当項目1項目	· · · a · · · b · · · c · · · d	

(検査員)	
•	

			7 // 1/2 4/	b	. , , , , , ,	1 // / / / / / / / / / / / / / / / / /	1	1								
考查項目	細 別	a	a'	b'	С	d			e							
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅱ.品質	□ 品質管理が優れてい □ る。	□ bより優れている。	□ 品質管理が <i>や</i> □ である。	や不適切	□ 品質管理 □ る。	里が不適切であ									
	基礎工工事(地 盤改良等を含む)		つきと評価対象項目の履行状況 管理基準、その他設計図書に定	□ 品質関係の測 は測定値が不 あったため、 文書で ***	適切で 監督員が	は測定値あったが	系の測定方法又 直が不適切で ため、検査員が こよる修補指示									
	0%	□□□ 02 既製杭の打止め管理門 03 溶接の品に管理にていての4 支持地盤に産 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1	評価対象項目」 □ 01 杭及び杭頭処理において、損傷及び補修痕がないことが確認できる。 □ 02 既製杭の打止め管理方法、又は場所打ち杭の施工管理方法(水平度、安全度、鉛直度等)が整備され、かつ記録が確認できる。 □ 03 溶接の品質管理に関して、仕様書に定められた事項が確認できる。 □ 04 支持地盤に達していることが、掘削深さ、掘削土砂等により確認できる。 □ 05 場所打ち杭について、トレミー管をコンクリート内に2m以上入れて施工していることが確認できる。 □ 06 掘削深度、排出土砂、孔内水位の変動及び安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度、比重が適切に管理されていることが確認できる。 □ 07 配筋、スペーサーの配置及びコンクリート打影等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ 08 ライナープレートの組み立てにあたって、偏心と歪みが少なくなるよう配慮されていることが確認できる。 □ 09 裏込材注入の圧力等が施工記録により確認できる。 □ 10 強度確認、セメントミルクの比重管理などの品質に係わる事項の管理資料を整理していることが確認できる。 □ 11 事前に土質試験を実施し、改良材の選定、必要添加量の設定等を行っており、改良材のバッチ管理記録が整理され、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ 12 施工箇所が均一に改良されているとともに、十分な強度及び支持力を確保していることが確認できる。 □ 12 施工箇所が均一に改良されているとともに、十分な強度及び支持力を確保していることが確認できる。 □ 14 断基準】 □ 15 つきで判断可能 ばらこのは、													
	Ⅲ. 出来ばえ	□ 仕上げがきめ細かく、全体 □ 的に優れている。	(評価値)だけで判仕上げが悪くに劣っている	、全体的												
	基礎工工事(地盤改良等を含む)	「評価対象項目」														

考查項目	細別	а	a'	b	b'		С		d		е
3. 出来形及び 3. 出来ばえ	Ⅱ. 品質	□ 品質管理が優れてい □ る。	□ bより優れている。	□ 品質管理がやや優れて □ いる。	□ cより優れている。	■ 他の い。	評価に該当しな	□ 品質管: □ である。	理がやや不適切	□ 品質管理 □ る。	里が不適切であ
	コンクリート橋 工事 (PC及び RCを対象)		つきと評価対象項目の履行状況 管理基準、その他設計図書に定	どめられた試験】※ばらつきの	判断は別紙-4参照	ばらつきを	考慮しない。	は測定あった	係の測定方法又 値が不適切で ため、監督員が 指示を行い改善	は測定値 あったた	系の測定方法又 直が不適切で とめ、検査員が こよる修補指示
		□ □ 02 コンクリート打設時 <i>0</i> □ □ 03 施工条件及び気象条件	が確認できるは、JISA-5308以外の り必要な供試体を採取し、強度 中心を採取した運搬時間、打設時の 生態適した運搬時間、打設時の 情にできる。(集中及び暑中及び暑中 身で確認できる。値が設計図を 事のは保管管理が適っている はでが鉄筋の最保管管をを と計算とでいる。 というというという。 は、設計図書のと関連が表別として にの数が設計図書のとしているる。 は、設計図書が設計図書が設計図書が、 での数が設計図書のとしている。 というというというというというというというというというというというというというと								
		□ □ 17 有害なクラックが無レ	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,						きで判断可能 以下 80%を超える	ばらつき 一 で判断不 る 可能	
		│	場合は、左□にレマークをいれる	らこと。			90%以上	a	a' b	b b	
		②左口をチェックした評価	5項目数を母数とし、右口をチェッ		軽(%)で評価する。	評	75%以上90%未満		b b'	ь,	
			福数/(レ)対象評価項目数 た評価項目数が2項目以下の場	合はC評価とする。		価値	60%以上75%未満		b' c	c	
			60%未満	b'	ССС	С					
		※ 総合評価落札方式で技行	術提案されている事項について	等が少なくば	 らつきの判断が出 けで判断する。	来ない場合					
	Ⅲ. 出来ばえ	□ 仕上げがきめ細かく、全体 □ 的に優れている。		評価に該当しな		が悪く、全体的					
	コンクリート橋 工事 (PC及び RCを対象)	「評価対象項目」 □ 01 コンクリート構造物の □ 02 コンクリート構造物の □ 03 天端仕上げ、端部仕」 □ 04 支承部の仕上げが良い □ 05 クラックがない。 □ 06 全体的な美観が良い。	- ,								

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検査員) 考查項目 細 別 d □ 品質管理がやや優れて いる。 □ 品質管理がやや不適切 である。 □ 品質管理が優れてい る。 ■ 他の評価に該当しない。 □ 品質管理が不適切である。 出来形及び 3. 出来ばえ Ⅱ. 品質 □ bより優れている。 □ cより優れている。 塗装工事 ●品質関係の、ばらつきの判定。 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> □ 品質関係の測定方法又 (工場塗装を □ 品質関係の測定方法又 除く) 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】※ばらつきの判断は別紙-4参照 は測定値が不適切で は測定値が不適切で あったため、監督員が あったため、検査員が O ばらつきが80%を超える。 文書で指示を行い改善 不合格による修補指示 びよのきが50%以下。 O ばらつきが80%以下。 ● ばらつきを考慮しない。 された。 を行った。 「評価対象項目」 □□01 塗装する面が乾燥状態であることが確認できる。(重ね塗りの場合も含む) □□02 ケレンが入念に実施されていることが確認できる。 0% □ □ 03 施工時の天候、気温及び湿度等の条件が整理・記録されていることが確認できる。 □ □ 04 塗料を使用前に攪拌し、容器底部に顔料沈殿がしていないことが確認できる。 □ □ 05 鋼材表面及び被塗装面の汚れ、油類等を除去し塗装を行っており、塗り残し、ながれ、しわ等が無く塗装されていることが確認できる。 □□06 塗料の空缶管理が写真等で確実に確認できる。 【判断基準】 □□07溶接部、ボルトの接合部分、構造の複雑な部分について、必要な塗膜厚を確保していることが確認できる。 ばらつぎ □ □ 08 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。 ばらつきで判断可能 で判断不 50%以下 80%以下 80%を超える 可能 評価方法 ①評価の対象項目とする場合は、左口にレマークをいれること。 90% DJ E a' h а h ②左口をチェックした評価項目数を母数とし、右口をチェックした評価項目数を分子とし、比率(%)で評価する。 評 75%以上90%未満 a' b' b' h ③評価値(%)=(レ)評価数/(レ)対象評価項目数 ④なお、左口をチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。 值 |60%以上75%未満 С С b' 60%未満 注)試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合 総合評価落札方式で技術提案されている事項については、 当該項目から除外する は、評価対象項目(評価値)だけで判断する。 □他の評価に該当しな □ 仕上げがきめ細かく、全 □ 仕上げがきめ細かく、全体 的に優れている。 仕上げが悪く、全体的 Ⅲ. 出来ばえ 体的にやや優れている。 に劣っている。 塗装工事 「評価対象項目」 (工場塗装を □ 01 細部まできめ細かな施工がされている。 □ 02 補修箇所がない。 除く) 設定条件 □ 03 ケレンの施工状況が良好である。 該当項目4項目以上 • • • a □ 04 塗装の均一性が良く、全体的な美観が良い。 該当項目3項目 • • • b · · · c 該当項目2項目 · · · d 該当項目1項目以下

□ 04 塗装に均一性がある。

□ 05 全体的な美観が良い。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検査員) 考查項目 細 别 d □品質管理がbより優れ □ 品質管理がやや優れて いる。 □ 品質管理がやや不適切 である。 □ 品質管理が優れてい る。 □ 品質管理がcより優れている。 ■ 品質管理が他の評価に 該当しない。 □ 品質関係が不適切である。 出来形及び 3. 出来ばえ Ⅱ. 品質 ている。 ●品質関係の、ばらつきの判定。 塗装工事 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> □ 品質関係の測定方法又 (工場塗装) □ 品質関係の測定方法又 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】※ばらつきの判断は別紙-4参照 は測定値が不適切で は測定値が不適切で あったため、監督員が あったため、検査員が 文書で指示を行い改善 不合格による修補指示 びよのきが50%以下。 O ばらつきが80%以下。 〇 ばらつきが80%を超える。 ● ばらつきを考慮しない。 された。 を行った。 「評価対象項目」 □□01 塗装する面が乾燥状態であることが確認できる。(重ね塗りの場合も含む) □ □ 02 ケレンが入念に実施されていることが確認できる。 0% □ □ 03 施工時の天候、気温及び湿度等の条件が整理・記録されていることが確認できる。 □ □ 04 塗料を使用前に攪拌し、容器底部に顔料沈殿がしていないことが確認できる。 □ □ 05 鋼材表面及び被塗装面の汚れ、油類等を除去し塗装を行っており、塗り残し、ながれ、しわ等が無く塗装されていることが確認できる。 □ □ 06 塗料の空缶管理が写真等で確実に確認できる。 □□ 07 溶接部、ボルトの接合部分、構造の複雑な部分について、必要な塗膜厚を確保していることが確認できる。 ばらつき ばらつきで判断可能 □ □ 08 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。 で判断不 50%以下 80%以下 80%を招える 可能 90%以上 b а ①評価の対象項目とする場合は、左口にレマークをいれること。 ②左口をチェックした評価項目数を母数とし、右口をチェックした評価項目数を分子とし、比率(%)で評価する。 評 75%以上90%未満 b' b' b ③評価値(%)=(レ)評価数/(レ)対象評価項目数 値 |60%以上75%未満 ④なお、左口をチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。 С C h' 60%未満 C С C 注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合 ※総合評価落札方式で技術提案されている事項については、当該項目から除外する。 は、評価対象項目(評価値)だけで判断する。 □他の評価に該当しな □ 仕上げがきめ細かく、全 仕上げが悪く、全体的 仕上げがきめ細かく、全体 □ 竹上りがこう… 的に優れている。 Ⅲ. 出来ばえ 体的にやや優れている。 に劣っている。 V. 途装工事 「評価対象項目」 (工場途装) □ 01 表面に補修簡所がない。 □ 02 部材表面に傷、錆がない。 設定条件 □ 03 溶接に均一性がある。 • • • a 該当項目4項目以上

• • • b

· · · c

· · · d

該当項目3項目

該当項目2項目

該当項目1項目以下

刊紙 3-3-21				上 争 风 狽 秌	にはり 有 笡 垻	し日 り ち 宜っ	りょう りょう りょう しょうしょう しょうしょう はいしょう はいしょう はいしょう はいしょう はいしょう はいしょ しゅうしゅ しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう はいしょう はいしょう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしょう はいしょう はいしょ しゅうしょう はいしょう はい	別 連 川 衣	:				(使宜貝)
考查項目	細	別	a	a'	b	b'		С		d			е
3. 出来形及び 3. 出来ばえ	Ⅱ. 品質		□ 品質管理が優れてい □ る。	□ bより優れている。	□ 品質管理がやや優れて いる。	□ cより優れている。	■他い	の評価に該当しな。	□ 品/	質管理が そ ある。	つや不適切	□ 品質管理 □ る。	理が不適切であ
	トンネル (ナトム			つきと評価対象項目の履行状況 管理基準、その他設計図書に定	R (評価値) から判断する。 <br Eめられた試験】※ばらつきの! %以下。	判断は別紙-4参照	● ばらつき	で考慮しない。	は あ 文	測定値が不	監督員が	は測定(あった)	系の測定方法又 直が不適切で ため、検査員が こよる修補指示 た。
	0%		「評価対象項目」 □ 01 設計図書に基づくつご 等)が確認できるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるで	ISA-5308以外の生コンを使用の必要な供試体を採取し、強度 中心要な供試体を採取し、強度 地要適した運搬時間、打設時の 記合及びロックボルトの種別。 と岩区分(支保エパターン含む こいて、設計図書の仕様を施工が (1目)以上重ねられせている (1目)以上重ないたせている を工にあたって、浮石等を除い トの打ち継ぎ部の施工において 長が、設計図書の仕様を満足し と使用する場合は、ロックボル	が確認できる。 ンクリート等を含む) いたがある。 いたがある。 いまう施工しているこ								
			②左口をチェックした評価	・場合は、左□にレマークをいれる ・面項目数を母数とし、右□をチェッ・「価数/(レ)対象評価項目数	ること。 クした評価項目数を分子とし、比	率(%)で評価する。		90%以上	lば 50%以下 a	らつきで判 80%以下 a'	川断可能 80%を超える b	ばらつき で判断不 う 可能 b	
				た評価項目数が2項目以下の場	合はC評価とする。			評 75%以上90%未満	a'	b	b'	ь,	
								値 60%以上75%未満	b	b'	С	С	
								60%未満	b'	С	С	С	
			※ 総合評価落札方式で技行	淅提案されている事項について	[は、当該項目から除外する。			注) 試験結果の打点数 は、評価対象項[釆ない場合	
	Ⅲ. 出来ばえ		□ 仕上げがきめ細かく、全体 的に優れている。		□ 仕上げがきめ細かく、全 体的にやや優れている。		□他い	の評価に該当しな	■ 仕.	上げが悪く 劣っている	 全体的 		
	トンネル(ナトム		「評価対象項目」 □ 01 コンクリート構造物の □ 02 コンクリート構造物の □ 03 天端仕上げ、端部仕」 □ 04 クラックがない。 □ 05 漏水がない。 □ 06 全体的な美観が良い。	の通りが良い。 上げ等が良い。			該当 ^工 該当 ^工	項目5項目以上 項目4項目 項目3項目	• • • a • • • b • • • c • • • d				

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

工事风順休点少为且为日少为且为							71) 连 /11 48	•				(KEA)
考查項目	細 別	a	a'	b	b'		С		d			е
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅱ. 品質	□ 品質管理が優れてい □ る。	□ bより優れている。	□ 品質管理がやや優れて いる。	□ cより優れている。	■ 他 心。	り評価に該当しな	日であ	質管理が や ある。	や不適切	□ 品質管 ³	理が不適切であ
	植栽工事	●品質関係の、ばらつきの判別 品質関係の試験結果のばらっ 【関連基準、土木工事施工行 ○ ばらつきが50%以下	は測あっ	質関係の測 削定値が不 ったため、 小を指示を いた。	適切で 監督員が	は測定しあった	係の測定方法又 値が不適切で ため、検査員が による修補指示 た。					
	0%	「評価対象項目」 □ 01 活着管理が適切に行れ □ 02 樹木等に損傷、はちく 手入れが行われている 手入れが行われている □ 03 肥料が直接樹木の根に □ 04 植生する樹木に応じて □ 05 添木をぐらつきがない □ 06 土壌試験を実施し、が 評価方法 ①評価の対象項目とする ②左口をチェックした評価 ③評価値(%)=(レ)評 ④なお、左口をチェックした ※ 総合評価落札方式で技術	【判断基準】 90%以上 75%以上90%未満 60%以上75%未満 80%未満 60%未満 注)試験結果の打点数	50%以下 a a' b b' 文等が少な	a' b b' c くばらつき	80%を超える b b' c c	b b' c					
	Ⅲ. 出来ばえ	□ 仕上げがきめ細かく、全体 □ 的に優れている。	は、評価対象項目 の評価に該当しな			、全体的						
	植栽工事	「評価対象項目」 □ 01 樹木の活着状況が良い □ 02 支柱の取り付けがきめ □ 03 支柱の取り付けが撃退 □ 04 植栽帯の全体的な美術	り細かく施工されている。 目である。			該当項 該当項	〔目3項目以上 〔目2項目 〔目1項目	· · · a · · · b · · · c · · · d		L		

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

考查項目	細 別	a	a'	b	b'		С		d			е
3. 出来形及び 3. 出来ばえ	Ⅱ. 品質								質管理が ^を ある。	やや不適切	□ 品質管理 □ る。	世が不適切であ
	防護柵(網)工	品質関係の試験結果のばら 【関連基準、土木工事施工 〇 ばらつきが50%以	のきと評価対象項目の履行状況 管理基準、その他設計図書に気	定められた試験】※ばらつきの	判断は別紙-4参照	ばらつき	を考慮しない。	は あ 文	測定値がったため、	則定方法又 下適切で 監督員が を行い改善	は測定値あったた	系の測定方法又 質が不適切で こめ、検査員が こよる修補指示
	0%	□ □ 02 防護柵等の床堀りの □ □ 03 防護柵等の基礎工の 工していることが確 □ □ 04 防護柵等の支柱の施 る。 □ □ 05 ガードケーブルを支	線誘導標設置基準、道路標識/ 仕上がり面において、地山の舌 施工にあたって、無筋及び鉄筋 認できる。 工にあたって、既設舗装面等へ 柱に取付ける場合、設計図書に トが設計図書に定められた強度	耐力を把握して、施いることが確認でき								
		②左口をチェックした評 ③評価値(%)=(レ)	る場合は、左口にレマークをいれる 価項目数を母数とし、右口をチェッ 評価数/(レ)対象評価項目数 した評価項目数が2項目以下の場	90%以上評 75%以上90%未満	lば 50%以下 a a'	a a' b		ばらつき で判断不 る 可能 b				
							価 60%以上75%未満 60%未満	b b'	b'	c	С	
		723 334 24 1 104 1 2 3 2 3 2 3 2 3	な	注)試験結果の打点数 は、評価対象項目	↓ 牧等が少た 目(評価値	<u> </u> くばらつ () だけで						
	Ⅲ. 出来ばえ 防護柵(網)丁		仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。 世化上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。 他の評価に該当しい。									
	PZ IZZ IIII VITTI —	□ 01 通りが良い。 □ 02 端部処理が良い。 □ 03 部材表面に傷、錆が □ 04 既設構造物等とのす □ 05 きめ細やかな施工が □ 06 全体的な美観が良い	りつけが良い。 なされている。	[目4項目 [目3項目	• • • a • • • b • • • c • • d							

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

75 PA 0 0 2 1											(成五吳/					
考查項目	細 別	a a' b b' c							d			е				
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅱ. 品質	□ 品質管理が優れてい □ る。	□ bより優れている。	いる。 □ 品質管理がやや優れて □ cより優れている。 ■ 他の評価に該当しな い。					質管理がそ ある。	やや不適切	□ 品質管 ⁵ る。	里が不適切であ				
	標識工事		のきと評価対象項目の履行状況 管理基準、その他設計図書に定	2(評価値)から判断する。<* ぎめられた試験】※ばらつきの* 6以下。 O ばらつきぇ	判断は別紙ー4参照	ばらつきる	ど考慮しない。	は あ 文	測定値が不 ったため、	側定方法又 下適切で 監督員が を行い改善	は測定しあった	系の測定方法又 直が不適切で ため、検査員が こよる修補指示 た。				
		□ □ 02 防護柵等の床堀りのた □ □ 03 防護柵等の基礎工のが 工していることが確当 □ □ 04 防護柵等の支柱の施コ る。 □ □ 05 ガードケーブルを支札 打設したコンクリート 評価方法	□ 01 防護柵設置要綱、視線誘導標設置基準、道路標識ハンドブック等の規定に従い、適切に施工し、規格値を満足していることが確認できる。 □ 02 防護柵等の床堀りの仕上がり面において、地山の乱れや不陸が生じないように施工していることが確認できる。 □ 03 防護柵等の基礎工の施工にあたって、無筋及び鉄筋コンクリートの規定を満足しており、基礎設置箇所について地盤の地耐力を把握して、施工していることが確認できる。 □ 04 防護柵等の支柱の施工にあたって、既設舗装面等へ影響が無いよう施工しており、根入長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ 05 ガードケーブルを支柱に取付ける場合、設計図書に定められた所定の張力を与えており、ガードケーブルの端末支柱を土中に設置する場合、打設したコンクリートが設計図書に定められた強度以上であることが確認できる。													
		②左口をチェックした評価 ③評価値(%)=(レ)評 ④なお、左口をチェックし	場合は、左口にレマークをいれる 項目数を母数とし、右口をチェッ 価数/(レ)対象評価項目数 と評価項目数が2項目以下の場 ないである。	クした評価項目数を分子とし、比合はC評価とする。	率(%)で評価する。		90%以上 75%以上90%未満 60%以上75%未満 60%未満 100%未満 1100000000000000000000000000000000000		a' b b' c		80%を超える 可能 b b b b c c c					
	Ⅲ. 出来ばえ 標識工事	□ 仕上げがきめ細かく、全体 回 に優れている。 「評価対象項目」 □ 01 設置位置に配慮がある。 □ 02 標識の向き、角度、3 □ 03 標識板、支柱に変色が □ 04 支柱基礎の埋め戻し等。 □ 05 全体的な美観が良い。	Z柱の通りが良い。 ぶない。	□ 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。		設定条件 該当項 該当項	評価に該当しな 目 4 項目以上 目 3 項目 目 2 項目			刊明 9 る。 <、全体的 る。						

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検査員)

考查項目 細 別 d а е □品質管理が不適切であ □ 品質管理が優れてい る。 3. 出来形及び 出来ばえ □ 品質管理がやや優れている。 ■ 他の評価に該当しない。 □ 品質管理がやや不適切である。 Ⅱ. 品質 □ bより優れている。 □ cより優れている。 る。 ●品質関係の、ばらつきの判定。 区画線等設置 □ 品質関係の測定方法又 工事 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> □ 品質関係の測定方法又 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】※ばらつきの判断は別紙-4参照 は測定値が不適切で は測定値が不適切で あったため、監督員が あったため、検査員が O ばらつきが50%以下。 びらつきが80%以下。 文書で指示を行い改善 不合格による修補指示 O ばらつきが80%を超える。 ● ばらつきを考慮しない。 された。 を行った。 「評価対象項目」 【区画線等設置工事】 □ □ 01 ペイント式 (常温式) 区画線に使用するシンナーの使用量が10%以下であることが確認できる。 0% □ □ 02 プライマーの施工にあたって、路面に均一に塗布していることが確認できる。 □□03 区画線の厚さが見本等で設計図書の仕様を満足し、施工後の昼間及び夜間の視認性が、設計図書の仕様を満足しており、区画線を消去の場 合、表示材(塗料)のみの除去となっており、路面への影響が最小限となっていることが確認できる。 □ □ 04 区画線の材料が、設計図書の仕様を満足しており、施工にあたって、設置路面の水分、泥、砂じん及びほこりを取り除いて行っていることが 確認できる。 【判断基準】 □ □ 05 塗料の空缶管理において、写真等で確実に空であることが確認できる。 ばらつき ばらつきで判断可能 で判断不 評価方法 50%以下 80%以下 80%を超える 可能 ①評価の対象項目とする場合は、左口にレマークをいれること。 90%以上 b ②左口をチェックした評価項目数を母数とし、右口をチェックした評価項目数を分子とし、比率(%)で評価する。 |評||75%以上90%未満 ③評価値(%)=(レ)評価数/(レ)対象評価項目数 a' b' b b' ④なお、左口をチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。 値 60%以上75%未満 b' b С С 60%未満 h' С 注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合 ※ 総合評価落札方式で技術提案されている事項については、当該項目から除外する は、評価対象項目(評価値)だけで判断する。 □他の評価に該当しな ■ 仕上げが悪く、全体的 □仕上げがきめ細かく、全 仕上げがきめ細かく、 Ⅲ. 出来ばえ 全体的に優れている。 体的にやや優れている。 に劣っている。 「評価対象項目」 区画線等設置 工事 □ 01 塗料の塗布が均一である。 □ 02 視認性が良い。 設定条件 □ 03 接着状態が良い。 該当項目4項目以上 • • • a □ 04 施工前の清掃が入念に実施されている。 該当項目3項目 . . . b · · · c □ 05 全体的な美観が良い。 該当項目2項目 該当項目1項目以下 · · · d

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

考查項目	細 別	a	a'	b	b'	С	d			е							
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅱ. 品質	□ 品質管理が優れてい □ る。	□ bより優れている。	□ 品質管理がやや優れて いる。	□ cより優れている。	■ 他の評価に該当しな い。	□ 品質関係が □ である。	やや不適切	□ 品質関 [®] る。	係が不適切であ							
	雪寒 P C 構造物工事	●品質関係の、ばらつきの判別 品質関係の試験結果のばらっ 【関連基準、土木工事施工行 ○ ばらつきが50%以】	□ 品質関係の は測定値が あったため 文書で指示	不適切で 、監督員が	□ 品質関係の測定方法又 は測定値が不適切で あったため、検査員が 不合格による修補指示												
	0%	「評価対象項目」									【コンクリート】 □ □ 01 設計図書に基づくコンクリートの配合試験、又は試験練が行われており、適切なコンクリートの規格(強度・w/c量等)が確認できる。(JISA-5308以外の生コンを使用する場合) □ 02 コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 □ □ 03 コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 □ □ 04 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固め時のバイブレータの機種、養生方法等が定めたとが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) □ □ 05 型枠・支保工の取り外し時のコンクリート強度が適正に管理されていることが確認できる。 □ □ 06 プレストレッシング時のコンクリート強度が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ □ 07 鉄筋の規格が証拠書類で確認できる。 □ □ 08 鉄筋の引張り強度・曲げ強度の試験値が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ □ 09 鉄筋の組立・加工が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ □ 11 スペーサーの品質及び個数が設計図書で定められた条件を満足していることが確認できる。 □ □ 11 スペーサーの品質及び個数が設計図書で定められた条件を満足していることが確認できる。					を行っ ばらつき	た。
		□ □ 16 有害なクラックが無レ	,°				ばらつきで判断可能 50%以下 80%以下 80%を超え		─ で判断不								
		評価方法	場合は、左口にレマークをいれる	らこと。		90%以上	a a'	b	b								
			「項目数を母数とし、右口をチェッ 「価数/(レ)対象評価項目数	クした評価項目数を分子とし、比	率(%)で評価する。	評 75%以上90%未満	a' b	b'	b'								
			た評価項目数が2項目以下の場	合はC評価とする。		値 60%以上75%未満	b b'	С	С								
		No. 10 A 37 midde II I I I I I I I I I I I I I I I I I	MIR de ()			60%未満 注)試験結果の打点数	b [*] c b等が少なくげらつ	まの判断が出	・ C 来かい提会								
		※ 総合評価洛札方式で技術	析提案されている事項について 	「は、当該項目から除外する <u>。</u> -		は、評価対象項目](評価値)だけで	判断する。	л. о г <u>-</u>								
	Ⅲ. 出来ばえ	□ 仕上げがきめ細かく、全体 的に優れている。		□ 仕上げがきめ細かく、全 体的にやや優れている。		□ 他の評価に該当しな い。	■ 仕上げが悪 に劣ってい	く、全体的る。									
	雪寒 P C 構造物工事	「評価対象項目」 □ 01 コンクリート構造物の □ 02 コンクリート構造物の	○通りが良い。 反面に気泡が目立たない。(又 『良い。 重結部の仕上げが良い。)	はプレキャスト部に欠損がなく	く、擦り傷が目立たない。)		設定条件 該当項目6項目 該当項目5項目 該当項目4項目 該当項目3項目	:	· · a · · b · · c · · d								

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

考查項目	細 別	a	a'	b	b'	С	d			e	
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅱ. 品質	□ 品質管理が優れてい □ る。	□ bより優れている。	□ 品質管理がやや優れて いる。	□ cより優れている。	■ 他の評価に該当しない。	□ 品質関係が [.] □ である。	やや不適切	□ 品質関 [/] る。	係が不適切であ	
	雪寒鋼製 構造物工事	【関連基準、土木工事施工名 ○ ばらつきが50%以下	つきと評価対象項目の履行状況 管理基準、その他設計図書に定	□ 品質関係のは は測定値が あったため 文書で指示 された。	不適切で 、監督員が	□ 品質関係の測定方法又 は測定値が不適切で あったため、検査員が 不合格による修補指示 を行った。					
		「評価対象項目」 【工場制作】 □□01 鋼材の員数照合が証明書類(現物照合を含む)で確認されている。 □□02 溶接作業にあたり、作業員の技量確認をおこなっていることが確認できる。 □□03 塗装する面が乾燥状態であることが確認できる。 □□04 素地調整の場合、第1種ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。 □□05 塗装の空缶管理において、写真等で確実に空であることが確認できる。 □□06 塗装の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。 【架設】 □□07 ボルトの締付確認が実施され、適切に記録が保管されていることが確認できる。 【判断基準】									
		□□ 08 ボルトの締付機、測録□□ 09 現場塗装部のケレンが					ばらつきで		ばらつき 一 で判断不		
		評価方法		· - 1.		90%LJ F	50%以下 80%以下 a a'	80%を超える	る 可能 b		
		②左口をチェックした評価		こと。 クした評価項目数を分子とし、比	率(%)で評価する。	評 75%以上90%未満	a a	h,	b,		
			価数/(レ)対象評価項目数 た評価項目数が2項目以下の場	合はC評価とする。		値 60%以上75%未満	b b'	С	С		
						60%未満	b' c	С	С		
		※ 総合評価落札方式で技行	が提案されている事項について	は、当該項目から除外する。			「点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合 「項目(評価値)だけで判断する。				
	Ⅲ. 出来ばえ	□ 仕上げがきめ細かく、全体 □ 的に優れている。		□ 仕上げがきめ細かく、全 体的にやや優れている。		□ 他の評価に該当しない。	■ 仕上げが悪 に劣ってい	く、全体的			
	雪寒鋼製 構造物工事	「評価対象項目」 □ 01 表面に補修箇所がない □ 02 部材表面に傷、錆がた □ 03 溶接に均一性がある。 □ 04 塗装に均一性がある。 □ 05 全体的な美観が良い。				該当項目3項目 該当項目2項目	· · · a · · · b · · · · c · · · d	- <u> </u>			

		(検査員)
	е	
□ 品 ^で る。	質関係が不	適切であ
は》 あっ 不合	質関係 関係 関係 で	:適切で 検査員が
	ばらつき で判断不	
習える	可能	
<u>I</u>	b	
,	b'	
:	С]
:	С	

考查項目	細 別	a	a'	b	b'	С		d			е	
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅱ. 品質	□ 品質管理が優れてい □ る。	□ bより優れている。	□ 品質管理がやや優れて いる。	□ cより優れている。	■ 他の評価に	三該当しな [」品質関係 である。	がやや不適	切□品	質関係が不適切であ	
	雪寒消雪配管 工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】※ばらつきの判断は別紙−4参照 ○ ばらつきが50%以下。 ○ ばらつきが80%以下。 ○ ばらつきが80%以下。 ○ ばらつきが80%を超える。 ◎ ばらつきを考慮しない。 ○ ばらつきを考慮しない。										
		された。 を行った。 「評価対象項目」 【土工事】										
		□ 14 密度管理が設計図書の 評価方法 ①評価の対象項目とする	場合は、左口にレマークをいれる	· · · · · ·			90%以上	50%以下 a	80%以下 a'	80%を超える b	- で判断不 可能 b	
		②左口をチェックした評価		クした評価項目数を分子とし、比	率(%)で評価する。		评 75%以上90%未清 価	a'	b	b'	b'	
		④なお、左口をチェックし	た評価項目数が2項目以下の場	合はC評価とする。 		1	値 60%以上75%未清 60%未満	h b	b'	С	С	
		※ 総合評価落札方式で技術	新提案されている事項について	「は、当該項目から除外する。			主) 試験結果の打点 は、評価対象項	 (数等が少な (目(評価値	() だけで判	 の判断が出来 断する。	_	
	Ⅲ. 出来ばえ	□ 仕上げがきめ細かく、全体 □ 的に優れている。		□ 仕上げがきめ細かく、全 体的にやや優れている。		□ 他の評価にい。	1該当しな	■ 仕上げが に劣って	悪く、全体 いる。	的		
	雪寒消雪配管工事	「評価対象項目」 □ 01 コンクリート構造物の□ 02 コンクリート構造物の□ 03 天端仕上げ、端部仕」□ 04 クラックがない。□ 05 全体的な美観が良い。)通りが良い。			設定条件 該当項目4項 該当項目3項 該当項目2項 該当項目1項	目 :	• b • с				

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検査員)

考查項目 細 别 d е □ 品質管理がやや優れて いる。 □ 品質管理がやや不適切 である。 □ 品質管理が優れてい る。 ■ 他の評価に該当しない。 □ 品質管理が不適切である。 出来形及び 3. 出来ばえ Ⅱ. 品質 □ bより優れている。 □ cより優れている。 雪寒さく井工事 <mark>●品質関係の、ばらつきの判定。</mark> □ 品質関係の測定方法又 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> □ 品質関係の測定方法又 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】※ばらつきの判断は別紙-4参照 は測定値が不適切で は測定値が不適切で あったため、監督員が あったため、検査員が 文書で指示を行い改善 不合格による修補指示 びよのきが50%以下。 O ばらつきが80%以下。 〇 ばらつきが80%を超える。 ● ばらつきを考慮しない。 された。 を行った。 「評価対象項目」 □ □ 01 使用材料について仕様書と同等以上の規格であることが確認できる。 □ □ 02 掘削完了後、電気検層を行いストレーナー設置位置について監督員と十分に協議していることが確認できる。 0% □ □ 03 掘削孔とケーシングパイプとの隙間を丁寧に単粒度砂利で充填し、その状況を確認できる。 □ □ 04 砂利充填の上部は遮水粘土を充填し、その状況を確認できる。 【判断基準】 □ □ 05 井戸内の排砂、排泥のための孔内洗浄を確実に行っていることが確認できる。 ばらつき ばらつきで判断可能 □□06 仕様書に定める試験を確実に行い、その結果についてよく整理されていることが確認できる。 で判断不 50%以下 80%以下 80%を招える 可能 評価方法 ①評価の対象項目とする場合は、左口にレマークをいれること。 90%以上 а a' b b ②左口をチェックした評価項目数を母数とし、右口をチェックした評価項目数を分子とし、比率(%)で評価する。 評 75%以上90%未満 b' b' ③評価値(%)=(レ)評価数/(レ)対象評価項目数 価 循 |60%以上75%未満 ④なお、左口をチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。 b' h 60%未満 b' 注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合 ※ 総合評価落札方式で技術提案されている事項については、当該項目から除外する。 は、評価対象項目(評価値)だけで判断する。 □他の評価に該当しな □ 仕上げがきめ細かく、全体 的に優れている。 仕上げがきめ細かく、全 仕上げが悪く、全体的 Ⅲ. 出来ばえ 体的にやや優れている。 いし に劣っている。 雪寒さく井工事 「評価対象項目」 □ 01 設置位置周辺の仕上がりが良く、全体的な美観が良い。 □ 02 工事写真によりケーシングパイプの接続や位置に細かな配慮がなされている。 設定条件 □ 03 揚水試験の結果が写真や報告書に的確に記録されており、取りまとめが良い。 該当項目4項目以上 • • • a □ 04 建設発生土や汚泥の処理を確実に行うなど、周辺への影響がないことが現地で確認できる。 該当項目3項目 · · · b 該当項目2項目 · · · c · · · d 該当項目1項目以下

考查項目	細 別	a	a'	b	b'	С	d	e
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅱ. 品質	□ 品質管理が優れてい る。	□ bより優れている。	□ 品質管理がやや優れて いる。	□ cより優れている。	■ 他の評価に該当しな い。	□ 品質関係がやや不適切 である。	□ 品質関係が不適切であ る。
	港湾築造工事		つきと評価対象項目の履行状況 管理基準、その他設計図書に対	Eめられた試験】※ばらつきの	判断は別紙-4参照	ばらつきを考慮しない。	□ 品質関係の測定方法又 は測定値が不適切で あったため、監督員が 文書で指示を行い改善 された。	□ 品質関係の測定方法又 は測定値が不適切で あったため、検査員が 不合格による修補指示 を行った。
	0%	「評潔・床鬼婦」 「	GAVIC ₀					
		【コンクリート関係】 □ 27 設計書に基づくコン: 総量等) が確認でき、 総量等) が確認でき、 【その他】 □ 28 工事期間中、1日1[□ 29 台風などの異常気象(評価方法 ①評価の対象項目とする。 ②左口をチェックした評価。 ③評価値(%) = (し)評価	る。(JISA-5308 以外の生コン 回は潮位観測を実施して記録し	(練りが行われており、適切なを使用する場合) ていることが確認できる。 に保及び退避設備の対策を講じ 5こと。 クした評価項目数を分子とし、比	ていることが確認できる。	W/C, 最大骨材粒径、塩基 [判断基準] 90%以上 75%以上90%未満 66%以上75%未満	ばらつきで判断可能 50%以下 80%以下 80%を超え a a' b b' b b' c	ばらつぎ で判断不 可能 b b'
		※ 総合評価落札方式で技	た計画項目数か2項目以下の場			60%未満 注)試験結果の打点 は、評価対象項	b' c c c 数等が少なくばらつきの判断がと目(評価値)だけで判断する。	С
	Ⅲ. 出来ばえ	□ 仕上げがきめ細かく、全体 的に優れている。		□ 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。		□他の評価に該当しな	■ 仕上げが悪く、全体的 に劣っている。	
	港湾築造工事	「評価対象項目」 □ 01 通りが良い。	されている。			設定条件 該当項目4項目以上 該当項目3項目 該当項目2項目	· · · a · · · b · · · · c · · · · d	

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検査員)

考查項目 細 别 d a е □ 品質管理がやや優れて いる。 □ 品質管理がやや不適切 である。 □ 品質管理が優れている。 ■ 他の評価に該当しない。 □ 品質管理が不適切である。 出来形及び 3. 出来ばえ Ⅱ. 品質 □ bより優れている。 □ cより優れている。 浚渫工事 ●品質関係の、ばらつきの判定。 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> □ 品質関係の測定方法又 □ 品質関係の測定方法又 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】※ばらつきの判断は別紙-4参照 は測定値が不適切で は測定値が不適切で あったため、監督員が あったため、検査員が 文書で指示を行い改善 不合格による修補指示 ● ばらつきが50%以下。 びらつきが80%以下。 O ばらつきが80%を超える。 びらつきを考慮しない。 された。 を行った。 「評価対象項目 □ □ 01 床堀(浚渫)にあたり、濁り防止等環境保全に十分注意して施工しており、既設構造物に影響のないよう十分検討して施工されていることが 0% 確認できる。 □ □ 02 床堀(浚渫)土砂処分における運搬途中で漏出がないように施工しており、施工上の注意事項(仕様書等による)が守られていることが確認 できる。 □ □ 03 余堀量・排泥率・吹上げ土量等の管理が適切に行われたことが確認できる。 □ □ 04 材料等 (製品含む) の品質規格証明書等が整備されている。 □ □ 05 浚渫等の汚濁水が仕様書に定められた水質に処理されたことが確認できる。 □ □ 06 濁り防止等の環境保全に十分配慮して施工されたことが確認できる。 【判断基準】 □□07後渫土量に見合った囲繞堤の規模(容量・堤幅・堤高等)が適正に計画・施工されたことが確認できる。 ばらつき ばらつきで判断可能 □ □ 08 排砂管、余水吐き施設及び場外排水路など余水処理が適正に計画・施工されたことが確認できる。 で判断不 50%以下 80%以下 80%を超える 可能 評価の対象項目とする場合は、左口にレマークをいれること。 90%以上 a' b b а ②左口をチェックした評価項目数を母数とし、右口をチェックした評価項目数を分子とし、比率(%)で評価する。 評 |75%以上90%未満 a' b' b' h ③評価値(%)=(レ)評価数/(レ)対象評価項目数 価 值 60%以上75%未満 b' ④なお、左口をチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。 b С С b' 60%未満 С 注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合 ※ 総合評価落札方式で技術提案されている事項については、当該項目から除外する。 は、評価対象項目(評価値)だけで判断する。 □他の評価に該当しな 世上げが悪く、全体的 □ 仕上げがきめ細かく、全 □ 仕上げがきめ細かく、全体 □ 的に優れている。 Ⅲ. 出来ばえ 体的にやや優れている。 に劣っている。 浚渫工事 「評価対象項目」 □ 01 施工管理記録等から浚渫完了状態の良さがうかがえる。 □ 02 浚渫後の河床(湖床)に極端な凹凸がない。 設定条件 □ 03 浚渫土の搬出先に不陸が生じない工夫が見られる。 該当項目4項目以上 • • • a □ 04 浚渫土の最終運搬先が平坦に仕上げられている。 該当項目3項目 • • • b · · · c □ 05 全体的にきめ細かな施工が伺える。 該当項目2項目 · · · d 該当項目1項目以下

(検査員)

考查項目	細	別	a	a'	b	b '	С	d	e
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅱ. 品質		□ 品質管理が優れてい □ る。	□ bより優れている。	□ 品質管理がやや優れて いる。	□ cより優れている。	■ 他の評価に該当しな い。	□ 品質管理がやや不適切 □ である。	□ 品質関係が不適切であ る。
	下水道開削工	・推進工		できと評価対象項目の履行状状定 管理基準、その他設計の場合を で、のがある。 位様書等で定められている合いで をでで、のがいて、といる合いで、といるといる。 はいっと、が確いて、といるといる。 はいっと、が確いで、といるといる。 はいったが認いと、はが確な、 ではいった。 でもというではいいった。 は、・シール・あって、といる。 は、・シール・のでは、ことが確な、 は、・シール・のでは、ことが確な、 は、・シール・のでは、ことが確な、 は、・シール・のでは、いる合いで、は、が確な、 のに位置がが部のがで、といるのでは、 は、いるのには、は、いるでは、 は、いるのには、は、いるでは、 は、いるには、は、いるでは、 は、いるには、は、いるでは、 は、いるには、は、いるでは、 は、いるには、ないない。 は、いるには、ないない。 は、いるには、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	□ 品質関係の測定方法又 は測定値が不適切で あったため、監督員が 文書で指示を行い改善 された。	□ 品質関係の測定方法又 は測定値が不適切で あったため、検査員が 不合格による修補指示 を行った。			
			②左□をチェックした評価 ③評価値(%)=(レ)評	別に行われており、その記録が におり、それに基づいた施工が 場合は、左口にレマークをいれる	管理されていることが確認できる。 行われたことが確認できる。 6こと。 クした評価項目数を分子とし、比	.	【判断基準】 90%以上 8平 1面	ばらつきで判断可能 50%以下 80%以下 80%を超え a a' b b'	ばらつき で判断不 る 可能 b
	Ⅲ. 出来ば	٠	4.1 x x x x x x x x x x x x x x x x x x x	析提案されている事項について	ひ しぶぶ と は 如 4・7 一人			b b' c c c マ等が少なくばらつきの判断がと (評価値) だけで判断する。	c c 出来ない場合
	下水道	ス 工事一 ・推進工	□ fn.E0かきめ細がく、全体 □ fn.優れている。 「評価対象項目」 □ 01 管渠の通りが良い。 □ 02 マンホールの仕上げた。 □ 03 クラックがない。 □ 04 漏水がない。 □ 05 全体的な美観が良い。	ぶ良い。	□ 仕上りかさの相がく、至 体的にやや優れている。		設定条件 該当項目4項目以上 該当項目3項目 該当項目2項目	■ に劣っている。 ・・・ a ・・・ b ・・・ c	

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

考查項目	細 別	a	c	d				е				
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅱ. 品質	□ 品質管理が優れてい □ る。	□ bより優れている。	□ 品質管理がやや優れて いる。	□ cより優れている。	■ 他の言	平価に該当しな	□ 品質 □ であ	質管理が <i>や</i> ある。	や不適切	□ 品質関f □ る。	系が不適切であ
			できと評価対象項目の履行状状定質を評価対象項目の履行書と評価対象項目の履行書に表す。 O ばらつきが809 はらつきが809 はらっとした。 げんが の は と は は は は は は は は は は は は は は は は は		は測あっ	質関係の測不の測定を表現である。 動力である。 動力である。 動力である。 がある。 がある。 がある。 がある。 である。 である。	適切で 監督員が	は測定しあった	系の測定方法又 直が不適切で ため、検査員が こよる修補指示 こ。			
		②左口をチェックした評価 ③評価値(%)=(レ)評	場合は、左口にレマークをいれる	ること。 クした評価項目数を分子とし、比	率(%)で評価する。	11曲	90%以上 75%以上90%未満 60%以上75%未満	50%以下 a a'	a'	断可能 80%を超える b b'	ばらつき 一で判断不 可能 b	
		※ 総合評価落札方式で技	(評価値)			c c 来ない場合						
	Ⅲ. 出来ばえ 下水道工事 ーシールドエ	仕上げがきめ細かく、全体 的に優れている。 「評価対象項目」 □ 01 コンクリート構造物の □ 02 コンクリート構造物の □ 03 マンホールの仕上げた □ 04 天端及び端部仕上げき □ 05 クラックがない。 □ 06 漏水がない。 □ 07 全体的な美観が良い。	O通りが良い。 ぶ良い。	■ 12.3	ちっている	0						

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検査員) 考查項目 細 別 d а е ■他の評価に該当しな □品質管理がやや不適切 □ 品質管理がやや優れて いる。 □ 品質管理が優れてい る。 出来形及び □ 品質関係が不適切である。 3. 出来ばえ Ⅱ.品質 □ bより優れている。 □ cより優れている。 である。 電線共同溝工事 ●品質関係の、ばらつきの判定。 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> □ 品質関係の測定方法又 □ 品質関係の測定方法又 (舗装工事含む) 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】※ばらつきの判断は別紙-4参照 は測定値が不適切で は測定値が不適切で あったため、監督員が あったため、検査員が O ばらつきが50%以下。 文書で指示を行い改善 不合格による修補指示 O ばらつきが80%以下。 O ばらつきが80%を超える。 ● ばらつきを考慮しない。 された。 を行った。 「評価対象項目」 □ □ 01 指定材料の規格が、品質を証明する書類で確認できる。 □ □ 02 管路の通過試験を行っており、試験結果から全箇所が導通しているのがわかり、それぞれの管の最小曲げ半径を満足していることが確認でき 0% □ □ 03 プラント出荷時、現場到着時、舗設時等において、アスファルト混合物の温度管理が記録していることが確認できる。 □ □ 04 特殊部の施工基面の支持力が、均等となるようにかつ不陸が無いように仕上げており、特殊部等の施工において、隣接する各ブロックに目違 いによる段差及び蛇行等が無いよう敷設していることが確認できる。 □ □ 05 埋戻しにおいて、設計図書の仕様を満足しており、舗装の復旧等が適時行われ、路面の沈下や不陸が無く平坦性を確保していることが確認で きる。 【判断基準】 □ □ 06 管枕及び埋設シートの設置及び土被りが、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ばらつき ばらつきで判断可能 で判断不 評価方法 50%以下 80%以下 80%を超える 可能 ①評価の対象項目とする場合は、左口にレマークをいれること。 90%以上 b ②左口をチェックした評価項目数を母数とし、右口をチェックした評価項目数を分子とし、比率(%)で評価する。 ③評価値(%)=(レ)評価数/(レ)対象評価項目数 評 75%以上90%未満 a' b' b' ④なお、左口をチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。 値 60%以上75%未満 b' b С С 60%未満 b' С 注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合 ※ 総合評価落札方式で技術提案されている事項については、当該項目から除外する。 は、評価対象項目(評価値)だけで判断する。 □他の評価に該当しな □ 仕上げがきめ細かく、全体 的に優れている。 仕上げが悪く、全体的 仕上げがきめ細かく、全 Ⅲ. 出来ばえ 体的にやや優れている。 に劣っている。 電線共同溝工事「評価対象項目」 (舗装工事含む) □ 01 歩道及び車道の舗装(含、仮復旧舗装)の勾配が適切で、有害な段差が無く平坦性が確保されている。 □ 02 プレキャストコンクリートブロックの蓋に、がたつきや不要な隙間が生じていない。 設定条件 □ 03 施工管理記録等から、不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 該当項目4項目以上 · · · a . . . b □ 04 全体的な美観が良い。 該当項目3項目 該当項目2項目 · · · c · · · d 該当項目1項目以下

丁事成績採点の考香項目の考香項目別運用表

(給杏昌)

がMX 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3	,			に 品 切 有 耳 頃	し日 ひ 与 狂 歩	1、17 1月		(快旦貝)
考查項目	細 別	a	a'	Ъ	b'	С	d	е
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅱ. 品質	□ 品質管理が優れてい □ る。	□ 品質管理がbより優れ □ ている。	□ 品質管理がやや優れて いる。	□ 品質管理がcより優れ □ ている。	■ 品質管理が他の評価に ■ 該当しない。	□ 品質管理がやや不適切 □ である。	□ 品質関係が不適切であ □ る。
	土木工事 (維持工事)	□ 02 構造物の劣化状況を。 □ 03 監督急的な作業において □ 04 緊急的な作業において 【その他】 □ 05 (理由: □ 06 (理由: □ 07 (理由: □ 08 (理由: □ 38 (理由: □ 37 (理目以上表述当3項目以下 注) 共通の4項目を必須の	・形状等が適切であり、かつ現 にく把握し、適切な対策を施し 対して、現地状況を勘案し、施 に、迅速かつ適切に対応してい ・・ a・ a・ またはb ・・ b' またはc ・・ b' またはc	ていることが確認できる。 工方法や構造について、提案を ることが確認できる。	e行うなど、積極的に取り組ん		□ 品質関係の測定方法又 は測定値が不適切で あったため、監督員が 文書で指示を行い改善 された。	□ 品質関係の測定方法又 は測定値が不適切で あったため、検査員が 不合格による修補指示 を行った。
	Ⅲ. 出来ばえ 土木工事 (維持工事)	□ 仕上げがきめ細かく、全体 的に優れている。 「評価対象項目」 □ 01 小構造物等にも細心の □ 02 きめ細かな施工がなさ □ 03 既設構造物とのすりっ □ 04 全体的な美観が良い。	されている。 oけが良い。	□ 仕上げがきめ細かく、全 体的にやや優れている。		該当項目2項目 該当項目1項目	仕上げが悪く、全体的に劣っている。・・・ a・・ b・・・ c・・・ d	

丁事成績採点の老香項目の老香項目別運用表

			- 1 /24 /IZA 1/21	· /// - J 11 /				
考查項目	細 別	a	a'	b	b'	С	d	е
3. 出来形及び 3. 出来ばえ	Ⅱ. 品質	□ 品質管理が優れてい □ る。	□ 品質管理がbより優れ ている。	□ 品質管理がやや優れて いる。	□ 品質管理がcより優れ ている。	■ 品質管理が他の評価に ■ 該当しない。	□ 品質管理がやや不適切 □ である。	□ 品質関係が不適切であ □ る。
	土木工事 (修繕工事)	□ 02 構造物の劣化状況を □ 03 監督員の指示事項に対	・形状等が適切であり、かつ現 よく把握し、適切な対策を施し 対して、現地状況を勘案し、施 なに対する提言や修繕サイクル ・・・a・・a・・b'またはb ・・・b'またはc		□ 品質関係の測定方法又 は測定値が不適切で あったため、監督員が 文書で指示を行い改善 された。	□ 品質関係の測定方法又 は測定値が、検査負が あったため、検査負が 不合格による修補指示 を行った。		
	Ⅲ. 出来ばえ	ただし、評価対象項目	D評価項目対象とし、このほか 目は最大8項目とする。	に下欄から適宜項目の記号を近 位上げがきめ細かく、全	追加して評価するものとする。	□ 他の評価に該当しな	世上げが悪く、全体的に劣っている。	
	土木工事 (修繕工事)	□ 付上けかさめ細かく、全体 的に優れている。 「評価対象項目」 □ 01 小構造物等にも細心の □ 02 きめ細かな施工がなさ □ 03 既設構造物とのすりっ □ 04 全体的な美観が良い。	されている。	□ 体的にやや優れている。		設定条件 該当項目3項目以上 該当項目2項目 該当項目1項目	- に劣っている。 · · · a · · · b · · · c · · · d	

(その他の対象項目)

1) 橋梁補強・補修工 ①設計図書に基づくモルタルが適切な規格(W/C,強度)であることが確認できる。

(耐震補強、落橋防止 ②モルタル打設時の必要な供試体を採取し強度が確認できる。

等を含む)

③鉄筋、鋼材の規格が証明書類で確認できる。

- ④鉄筋の組立・加工が適正であることが確認できる。
- (5)使用材料の品質確認を現場で実施し、その記録が整理されていることが確認できる。 (6)ボルトの締め付け確認が実施され、適切に記録が保管されていることが確認できる。 (7)ボルトの締付機、測定器のキャリブレーションが実施されていることが確認できる。
- ⑧アンカー引き抜き試験を実施し、必要強度の確認を行っていることが確認できる。
- ⑨削孔箇所の清掃を実施されていることが確認できる。
- ⑩塗料の空缶管理が、写真等で確実に空であることが確認できる。⑪既設鉄筋や既設部材の保全による構造全体の品質確保への配慮がなされていることが確認できる。
- ⑩コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。
- ③炭素繊維・鋼材・鉄筋の規格が証明書類で確認でき、引張り強度・曲げ強度が試験値で確認できる。
- ⑭電位差測定等により電気防食効果が明確に確認できる。
- ⑤ケレンが入念に実施されていることが確認でき塗膜厚管理が適切に行われていることが確認できる。

(村	食査員))

考查項目	細別	J	a	a'	С	d			е				
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅱ. 品質		□ 品質管理が優れてい □ る。	□ bより優れている。	評価に該当しな	口品質でも	質管理が <i>や</i> ある。	· や不適切	品質管理 □ る。	里が不適切であ			
	土木その他 -歩道工・ ボックス設	情報		つきと評価対象項目の履行状況 管理基準、その他設計図書に定	!(評価値)から判断する。 < *! められた試験】※ばらつきの*! 6以下。	判断は別紙ー4参照	ばらつきを	考慮しない。	は あっ 文書	則定値が不 ったため、	定方法又 適切で 監督員が ご行い改善	は測定値あったが	系の測定方法又 直が不適切で とめ、検査員が こよる修補指示 こ。
	0%		「評価対象項目」 【歩道工工事】 □ □ 01 平板ブロック、インタ □ □ 02 目地の処理が適切にでいる。 02 まールや敷地境のすり □ 04 排水勾配が適切に施コ 【情報ボックス設置工事】 □ □ 05 舗装等表面処理が適均 □ 06 舗装等表面処理が適均 □ 07 情報ボックスとが確認できる。 08 情報ボックス本体(ターでいることが確認でき	すわれたことが確認できる。 付け処理が丁寧に行われたここされたことが確認できる。 切に行われたことが確認できる 切に行われたことが確認できる (管)・ハンドホールの埋戻し は認できる。 (管)が滞水が生じないように				W 2 × 1					
			②左口をチェックした評価 ③評価値(%)=(レ)評 ④なお、左口をチェックし	場合は、左口にレマークをいれる 項目数を母数とし、右口をチェッ 価数/(レ)対象評価項目数 た評価項目数が2項目以下の場 所提案されている事項について	90%以上 75%以上90%未満 60%以上75%未満 60%以上75%未満 60%未満 30%未満 は、評価対象項目	50%以下 a a' b b' y等が少な	a' b b' c くぼらつき	80%を超える b b' c c c	b b' c c				
	Ⅲ. 出来ばえ 土木その他 ー歩道エ・ ボックス設	情報	□ 02 プレキャストコンク! □ 03 施工管理記録等から、 □ 04 全体的な美観が良い。 【情報ボックス設置工事】 □ 05 ハンドホール内に土砂	ートブロックの蓋に、がたつ 不可視部分の出来ばえの良さ か・異物及び汚れがない。 後合部の仕上げがよいのが確認		生が確保されている。	設定条件 該当項目 該当項目	評価に該当しな 4項目以上 3項目 2項目	_ 仕」		、全体的		

(検査員)

考查項目	細 別	a	a'	b	b' c		d	е
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅱ. 品質	□ 品質管理が優れてい □ る。	□ bより優れている。	□ 品質管理がやや優れて いる。	□ cより優れている。	■ 他の評価に該当しない	□ 品質管理がやや不適切 □ である。	□ 品質関係が不適切であ る。
	共通一機械設備工事 0%	評価方法 ①評価の対象項目とする ②左口をチェックした評価 ③評価値(%)=(レ)評 ④なお、左口をチェックし 判断基準 評価値が90%以上 評価値が80%以上90% 評価値が70%以上80% 評価値が60%以上70% 評価値が60%以上70% 評価値が60%未満	会の主義を対して、という。 は、大きのないは、をでいる。 は、大きのないでは、というでは、大きのでは、まりでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	照合ることが行要が で確でいる。ことが行要が で認いまとします。 でおいているでは、 が正さされている。 でおいているでは、 ができたが行要が で認いている。 は類類を整理性にしている。 を含とが行要が がにている。 で認いている。 で認いている。 で認いている。 で認いている。 で認いないででが行要が ができたが行要が ができたが行要が で認いている。 のとしま理しに優ない。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	計図書の仕様を満足していることが確認できる。とが確認できる。とが確認できる。る。 を記できる。 を記できる。 を記できる。が無いことが確認していることがな安全装置及び保護装置の作動 は験などで確認していることがといることが必要できる。 ことが確認できる。 ことが確認できる。 ことが確認できる。 ことが確認できる。 ことが確認できる。	いできる。 が確認できる。 でないできる。	□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。
	Ⅲ. 出来ばえ	□ 仕上げがきめ細かく、全体 的に優れている。		□ 仕上げがきめ細かく、全 体的にやや優れている。		□ 他の評価に該当しない。	■ 仕上げが悪く、全体的 に劣っている。	
	共通一 機械設備工事	「評価対象項目」 □ 01 主設備、関連設備及で □ 02 きめ細かな施工がなる □ 03 土木構造物、既設設例	#等とのすりつけが良い。 こあたって、細部に渡る配慮が	該当項目3項目 該当項目2項目	· · · a · · · b · · · c · · · d			

丁事成績採点の老杏項目の老杏項目別運用表

別紙 3-3-39			工事成績採	え点の考査項	〔目の考査項	頁目別運用表	•	(検査員)
考查項目	細 別	a	a'	b	b'	С	d	е
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅱ. 品質	□ 品質管理が優れてい □ る。	□ bより優れている。	□ 品質管理がやや優れて いる。	□ cより優れている。	■ 他の評価に該当しない。	□ 品質管理がやや不適切 □ である。	□ 品質関係が不適切であ る。
		評価方法 ①評価の対象項目とする ②左口をチェックした評価 ③評価値(%)=(レ)評 ④なお、左口をチェックし 判断基準 評価値が90%以上 評価値が80%以上90% 評価値が70%以上80% 評価値が60%以上70% 評価値が60%以上70% 評価値が60%未満	の大型 では、本書・本書・本書・本書・本書・本書・本書・本語 の で、 本書・本書・本語 の で、 本書・本書・本語 で、 本書・本書・本語 で、 本書・本書・本語 で、 本書・本書・本語 で、 本書・本書・本語 で、 本書・本書・本書・本書・本書・本書・本書・本書・本書・本書・本書・本書・本書・本	照合をことが行要を含めている。 はいます はいました はいました はいまから は	計図書の仕様を満足していることが確認できる。とが確認できる。とが確認できる。る。 を認定きる。のできる。 を認定できる。 を認定できる。かけれていることが確認していることがを主要性ででである。 を記していることがを正とが確認できる。 とが確認できる。 ことが確認できる。 ことが確認できる。 ことが確認できる。 ことが確認できる。 ことが確認できる。	&できる。 力が確認できる。 が確認できる。	□ 品質関係の測定方法で は測定値が不適切で あったた。 は割まを行い改善 された。	□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査負が不合格による修補指示を行った。
	Ⅲ. 出来ばえ	□ 仕上げがきめ細かく、全体 的に優れている。		□ 仕上げがきめ細かく、全 体的にやや優れている。		□ 他の評価に該当しない。	■ 仕上げが悪く、全体的 に劣っている。	
	共通一 電気設備工事	「評価対象項目」 □ 01 きめ細やかな施工がか □ 02 公共物として安全性の □ 03 動作状態において、電 □ 04 ケーブル等の接続方法)確保、環境及び維持管理等へ	の配慮がなされている。 、総合的な機能及び運用性が」	ộv's	設定条件 該当項目5項目以上 該当項目4項目 該当項目3項目	· · · a · · · b · · · c · · · d	

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

777/24 0 0 10								(水型具)
考查項目	細 別	a	a'	b	b'	С	d	е
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅱ. 品質	□ 品質管理が優れてい □ る。	□ bより優れている。	□ 品質管理がやや優れて いる。	□ cより優れている。	■ 他の評価に該当しな い。	□ 品質管理がやや不適切 である。	□ 品質関係が不適切であ る。
	0%	評価方法 ①評価の対象項目とする ②左口をチェックした評価 ③評価値(%)=(レ)評 ④なお、左口をチェックし 判断基準 評価値が80%以上 評価値が80%以上90% 評価値が70%以上80% 評価値が60%以上70% 評価値が60%以上70% 評価値が60%未満	品質が形状について、設制留 最近、品質保証が、 品質及び形状について、現物で確一 異が、品質保証が、 の場合に業が、成施工程を関係では 養養統などの作業が、の を機能なびに作業が、の を機能などの情との計画を は、の計画を は、他能の製造手では との計画を は、の計画を は、の計画を は、の計画を は、の計画を は、のは、 は、のは、 は、 は、 のは、 をので、 は、 のは、 をので、 は、 のは、 をので、 は、 のは、 をので、 は、 のは、 をので、 は、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、	書等と適合が確認できる証明智を含む)で確認できた。設計図記できた設計図記できた。設計図記できた。設計のできた。設計のできた。というにできた。というにいて記載のできた。というにいて記載のできる。というにいいが容易に判算科を場合のとが単別でを表している。というに、は、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のできる。	書の仕様を満足していることかしていることが確認できる。 われ、不具合が無いことが確認できいることが確認できる。ことが確認できる。こより確認できる。 となり確認できる。 とより確認できる。 を正又は更新)していることできる。 のることが確認できる。	3確認できる。 3できる。 る。	□ 品質関係の測定方法又 は測定値が不適切で あったため、監督員が 文書で指示を行い改善 された。	□ 品質関係の測定方法又 は測定値が不適切で あったため、検査員が 不合格による修補指示 を行った。
	Ⅲ. 出来ばえ	仕上げがきめ細かく、全体 的に優れている。		□ 仕上げがきめ細かく、全 体的にやや優れている。		□ 他の評価に該当しない。	■ 仕上げが悪く、全体的 に劣っている。	
	共通一 電気通信工事	□ 02 公共物として安全性の□ 03 動作状態において、電□ 04 当該設備及び関連設備	帯が全体的に協調及び統制され 容易さを確保するための配慮が	の配慮がなされている。 、総合的な機能及び運用性が 、総合的な性能向上への配慮だ		該当項目4項目 該当項目3項目	· · · a · · · b · · · c · · · d	

丁事成績採点の老杏項目の老杏項目別運用表

777/PC 0 0 11	•							(灰血丸)
考查項目	細 別	a	a'	b	b'	С	d	е
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅱ. 品質	□ 品質管理が優れてい □ る。	□ bより優れている。	□ 品質管理がやや優れて いる。	□ cより優れている。	■ 他の評価に該当しな い。	□ 品質管理がやや不適切 である。	□ 品質関係が不適切であ る。
	0%	評価方法 ①評価の対象項目とする ②左口をチェックした評価 ③評価値(%)=(レ)評 ④なお、左口をチェックし 判断基準 評価値が90%以上 評価値が80%以上90% 評価値が70%以上80% 評価値が60%以上70% 評価値が60%以上70% 評価値が60%未満	承諾図等により確認で確認で確認で確認で確認で確認で確認が適切であり、品質がではででででででで、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、	計図書を満足していることが、る。 の質を確認でき、施工の品質が、 の質が、継続して確認できる。。 いることが確認できる。。 のる。と質を確認できる。 の質を確認できる。 質のでを確認できる。 の質を確認できる。 のできる。 のでを確認できる。 のでを確認できる。 のでを確認できる。 のでを確認できる。 のでを確認できる。 のでを確認できる。 のである。 ので。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 ので。 ので。 ので。 ので。 ので。 ので。 ので。 ので	、良好であることが確認できる)	□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査指示を行った。
	Ⅲ. 出来ばえ	□ 仕上げがきめ細かく、全体 □ 的に優れている。		□ 仕上げがきめ細かく、全 体的にやや優れている。		□ 他の評価に該当しな い。	■ 仕上げが悪く、全体的 に劣っている。	
	建築工事	□ 02 関連工事又は既存部分□ 03 使い勝手や使用者の分		別和が良い仕上がりである。 。		該当項目 4 項目 該当項目 3 項目	a b c	

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

考查項目 細 别 d □品質関係が不適切であ □ 品質管理がやや優れて いる。 □ 品質管理がやや不適切 である。 □ 品質管理が優れてい る。 ■ 他の評価に該当しない。 出来形及び 3. 出来ばえ Ⅱ. 品質 □ bより優れている。 □ cより優れている。 る。 「評価対象項目」 -電気設備工事 □□ 01 施工計画に定められた品質計画により管理されていることが確認できる。 □ 品質関係の測定方法又 □ 品質関係の測定方法又 □ □ 02 機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。 は測定値が不適切で は測定値が不適切で □ □ 03 施工の各段階における完了時の試験方法及び記録の内容が適切であり、品質が設計図書を満足し、良好な施工であることが確認できる。 あったため、監督員が あったため、検査員が 不合格による修補指示 0% □ □ 04 品質が設計図書を満足し、適切な施工であることが確認できる。 文書で指示を行い改善 □□05システムの性能及び機能に関する試運転、確認方法等が適切であり、記録の内容が設計図書を満足し良好であることが確認できる。 された。 を行った。 □ □ 06 不可視部分となる品質が、工事写真等で的確に確認できる。 □□07機器の機能及び性能が工場試験成績書等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。 □ □ 08 操作制御関係の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足しているとともに、必要な安全装置及び保護装置の作動が確認できる。 □ □ 09 機器等の点検や消耗品の取替作業が容易にできるよう工夫していることが確認できる。 □□10中間検査や既済検査での創意工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。 □ □ 11 その他(理由: ※評価項目に加える場合は、必ず理由を記入する。 評価方法 ①評価の対象項目とする場合は、左口にレマークをいれること。 ②左口をチェックした評価項目数を母数とし、右口をチェックした評価項目数を分子とし、比率(%)で評価する。 ③評価値(%)=(レ)評価数/(レ)対象評価項目数 ④なお、左口をチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。 判断基準 評価値が90%以上 • • • a · · · a' 評価値が80%以上90%未満 評価値が70%以上80%未満 · · · h 評価値が60%以上70%未満 · · · b' 評価値が60%未満 · · · c ※ 総合評価落札方式で技術提案されている事項については、当該項目から除外する。 □他の評価に該当しな ■ 仕上げが悪く、全体的 □ 仕上げがきめ細かく、全体 □ 的に優れている。 仕上げがきめ細かく、全 Ⅲ. 出来ばえ い。 体的にやや優れている。 に劣っている。 「評価対象項目」 □ 01 きめ細やかな施工がなされている。 -電気設備工事 □ 02 関連工事又は既存部分との調整がなされ、全体に調和が良い仕上がりである。 設定条件 □ 03 機器又はシステムとして、運転状態、性能が優れている。 該当項目4項目以上 • • • a □ 04 環境負荷低減への対策が優れている。 該当項目3項目 · · · b □ 05 運転及び保守管理への対応が優れている。 該当項目2項目 · · · c 該当項目1項目以下 · · · d

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

71 O O 1 O					(KEA)			
考查項目	細 別	a	a'	b	b '	С	d	е
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅱ. 品質	□ 品質管理が優れてい □ る。	□ bより優れている。	□ 品質管理がやや優れて いる。	□ cより優れている。	■ 他の評価に該当しな い。	□ 品質管理がやや不適切 □ である。	□ 品質関係が不適切であ る。
	0%	評価方法 ①評価の対象項目とする ②左口をチェックした評価 ③評価値(%)=(レ)評 ④なお、左口をチェックし 判断基準 評価値が90%以上 評価値が80%以上90% 評価値が70%以上80% 評価値が60%以上70% 評価値が60%以上70% 評価値が60%未満	図等により確認かでき、設計図録が お完了時の試験が法及び記録の をし、適切な施工で転、確認な とし、適切する可以事等等は、のできるでは、 機能に関する写真等等は、のできるでいる。 機能に関する写真等等は、のできるでいる。 が工場試験成成設計図書ででやのできるが、 なが性性能が、設計別のできるがな施工のできるが、なが性性が、表別がながながないでからない。 をいますが、のでいますが、ないでいますが、での創意工夫や良好なが、をいますで、の創意工夫や良好なが、をいますが、での創意とない。 は、必ず理由を記入する。 は、必ず理由を記入する。 は、必ず理由を記入する。 は、必ず理由を記入する。 は、必ず理由を記入する。 は、が、は、からないできないますが、また。 は、ないますが、といますが、は、また。 は、またのは、またのは、またいますが、また。 本に、またいますが、またいまたいますが、またいまたいますが、またいまたいまたいまたいまたいまたいまたいまたいまたいまたいまたいまたいまたいま	を満ない。 で満ない。 できる。 にできる。 にできる。 にできる。 ともしているのることのできる。 といってできる。 ともしているのることのできる。 が満足しているのることのできる。 が満足してのできる。 が満足してのできる。 が満足してのできる。 が満足してのできる。 をがある。 ができる。 がは、継続して確認できる。 をからた評価項目数を分子とし、比が会はの評価とする。	計図書を満足し、良好な施工で が設計図書を満足し良好である ることが確認できる。 な安全装置及び保護装置の作動 きる。 忍できる。	ことが確認できる。	□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査負が不合格による修補指示を行った。
	Ⅲ. 出来ばえ	□ 仕上げがきめ細かく、全体 的に優れている。		□ 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。		□ 他の評価に該当しない。	■ 仕上げが悪く、全体的 に劣っている。	
	冷暖房衛生 設備工事	「評価対象項目」 □ 01 きめ細やかな施工がた □ 02 関連工事又は既存部分	うとの調整がなされ、全体に調 して、運転状態、性能が優れて 策が優れている。			該当項目3項目 該当項目2項目	· · · · a · · · · b · · · · c · · · · d	

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

考查項目 細 別 d a е □ 品質管理が優れてい る。 □ 品質管理がやや優れて いる。 ■ 他の評価に該当しない。 □ 品質管理がやや不適切である。 □ 品質関係が不適切である。 3. 出来ばえ 出来形及び Ⅱ.品質 □ bより優れている。 □ cより優れている。 建築工事付帯 「評価対象項目」 □ 品質関係の測定方法又 □ 品質関係の測定方法又 □ □ 01 品質管理方法が明確で、品質確保に創意工夫がある。 外溝工事 □ □ 02 施工計画書に定められた品質計画により管理されている。 は測定値が不適切で は測定値が不適切で □ □ 03 材料の品質管理が適切である。 あったため、監督員が あったため、検査員が 不合格による修補指示 0% □ □ 04 請負者の品質計画による品質管理記録が整理されている。 文書で指示を行い改善 □ □ 05 施工の品質・形状が適切で良好な施工である。 された。 を行った。 □ □ 06 不可視部分の写真記録が適切である。 □ □ 07 その他(理由: ※評価項目に加える場合は、必ず理由を記入する。 評価方法 ①評価の対象項目とする場合は、左□にレマークをいれること。 ②左口をチェックした評価項目数を母数とし、右口をチェックした評価項目数を分子とし、比率(%)で評価する。 ③評価値(%)=(レ)評価数/(レ)対象評価項目数 ④なお、左口をチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。 判断基準 評価値が90%以上 • • • a · · · a' 評価値が80%以上90%未満 評価値が70%以上80%未満 · · · b 評価値が60%以上70%未満 · · · b' 評価値が60%未満 · · · c ※ 総合評価落札方式で技術提案されている事項については、当該項目から除外する。 □他の評価に該当しな ■ 仕上げが悪く、全体的 □ 仕上げがきめ細かく、全体 的に優れている。 仕上げがきめ細かく、全 □ 仁上りかっ〜m… 体的にやや優れている。 Ⅲ. 出来ばえ に劣っている。 建築工事付帯 □ 01 きめ細やかな施工がなされ、取り合いの納まりや端部までの仕上がりが良い。 外溝工事 □ 02 関連工事又は既存部分との調整がなされ、全体に調和が良い仕上がりである。 設定条件 □ 03 使い勝手や使用者の安全に対する配慮が適切である。 該当項目4項目以上 • • • a • • • b □ 04 仕上がりの状態が良好で色調が均一でむら等がない。 該当項目3項目 □ 05 全体的な美観が良好である。 該当項目2項目 · · · c · · · d 該当項目1項目以下

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

考查項目 細 別 d a е □ 品質管理が優れてい る。 □ 品質管理がやや優れて いる。 ■ 他の評価に該当しない。 □ 品質管理がやや不適切である。 □ 品質関係が不適切である。 3. 出来ばえ 出来形及び Ⅱ.品質 □ bより優れている。 □ cより優れている。 建築工事付帯 「評価対象項目」 □ □ 01 土壌硬度試験及び土壌試験 (HP) を実施し施工に反映している。 □ 品質関係の測定方法又 □ 品質関係の測定方法又 植栽工事 □ □ 02 活着管理が適切に行われている。 は測定値が不適切で は測定値が不適切で □□ 03 樹木等に損傷、はちくずれ等がなく、保護養生が適切になされている。 あったため、監督員が あったため、検査員が 不合格による修補指示 0% □ □ 04 樹木等の育成に害のあるものは除去されている。 文書で指示を行い改善 □ □ 05 余剰枝の剪定、整形その他必要な手入れが行われている。 された。 を行った。 □ □ 06 肥料が直接樹木の根に触れないよう均一に施肥されている。 □ □ 07 その他(理由: ※評価項目に加える場合は、必ず理由を記入する。 評価方法 ①評価の対象項目とする場合は、左□にレマークをいれること。 ②左口をチェックした評価項目数を母数とし、右口をチェックした評価項目数を分子とし、比率(%)で評価する。 ③評価値(%)=(レ)評価数/(レ)対象評価項目数 ④なお、左口をチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。 判断基準 評価値が90%以上 • • • a • • • a' 評価値が80%以上90%未満 評価値が70%以上80%未満 · · · b . . . b' 評価値が60%以上70%未満 評価値が60%未満 · · · c ※ 総合評価落札方式で技術提案されている事項については、当該項目から除外する。 □他の評価に該当しな ■ 仕上げが悪く、全体的 □ 仕上げがきめ細かく、全体 的に優れている。 仕上げがきめ細かく、全 □ 仁上りかっ〜m… 体的にやや優れている。 Ⅲ. 出来ばえ に劣っている。 建築工事付帯 「評価対象項目」 植栽工事 □ 01 樹木の活着状況が良い。 設定条件 □ 02 支柱の取り付けがきめ細かく施工されている。 □ 03 支柱の取り付けが堅固である。 該当項目5項目以上 • • • a • • • b □ 04 植栽帯の全体的な美観が良い 該当項目4項目 □ 05 土は土塊、瓦礫、雑草等が混在していない。 該当項目3項目 · · · c · · · d □ 06 施工管理記録から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 該当項目2項目以下

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

考查項目	細 別	a	a'	b	b'		С	d			e	
3. 出来形及び 3. 出来ばえ	Ⅱ. 品質	□ 品質管理が優れてい □ る。	□ bより優れている。	□ 品質管理がやや優れて いる。	□ cより優れている。	■他の	の評価に該当しな	日で	質管理がそ ある。	₽や不適切	□ 品質関	係が不適切であ
	ほ場整備工 (整地工・用排 水路工・道路工 ・暗渠排水工・ 二次製品水路)		つきと評価対象項目の履行状況 管理基準、その他設計図書に定	められた試験】※ばらつきの	判断は別紙-4参照	● ばらつき	を考慮しない。	は あ 文	質関係の測 測定値が不 ったため、 書で指示を れた。	下適切で 監督員が	は測定 あった	係の測定方法又 値が不適切で ため、検査員が による修補指示 た。
	0%	「評価対象項目」 □ 01 仕様書等で定められた。 □ 02 材料内の出表水等の実施の表が表質が表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表	整備されているとが確認できしる 会し、ドライをしているとが確認といる 会し、ドライギしであるとができしる 大学のであると地でしてと 里のでである。 世のでは、まない。 世のでは、 世のでは、 世のでは、 世のででは、 はいいと はいいと はいいと はいいと はいいと はいいと はいいと はい	【判断基準】	l f	らつきで判	掛 可能	ばらつき	1			
		②左口をチェックした評価 ③評価値(%)=(レ)評	他上及い官の埋戻しか、適別に 5場合は、左口にレマークをいれる 西項目数を母数とし、右口をチェッ 1価数/(レ)対象評価項目数 た評価項目数が2項目以下の場	っこと。 クした評価項目数を分子とし、比3			90%以上 評 75%以上90%未満 価 60%以上75%未満	50%以下 a a' b		80%を超える b b'	一 で判断不 可能 b b'	
		サレデがきめ細かく 今体	80%未満 注)試験結果の打点は、半部項目から除外する。 注)試験結果の打点は、評価対象項目 仕上げがきめ細かく、全体 口 仕上げがきめ細かく、全体 口 仕上げがきめ細かく、全体 口 他の評価に該当しな								c 来ない場合	
	Ⅲ. 出来ばえ ほ場整備工 (整地工・用排 水路工・道路工・ ・暗渠排水工・ 二次製品水路)	□ 11.EI/m さめ畑が、、生体的に優れている。 「評価対象項目□ 01 土工(畦畔、溝畔等)」 □ 02 整地の均平度が良い。 □ 03 小構造物に注意が払お□ 04 全体的な美観が良い。	• • • a • • • b • • • c • • • d	エリかぶへ 劣っている	、全体的 。							

別紙 3-3-47			頁目の考査項	頁 目 別	運用表					(検査員)		
考查項目	細 別	а	a'	b	b'		С		d		,	е
3. 出来形及び 3. 出来ばえ	Ⅱ. 品質	□ 品質管理が優れてい □ る。	□ bより優れている。	□ 品質管理がやや優れて □ いる。	□ cより優れている。	■ 他の詩	評価に該当しな	□品質であ	管理が <i>や</i> っ る。	や不適切	□ 品質関化 る。	係が不適切であ
	ため池工事	【関連基準、土木工事施工管 ○ ばらつきが50%以下	つきと評価対象項目の履行状況 管理基準、その他設計図書に定	!(評価値) から判断する。 <br ばめられた試験】※ばらつきの! %以下。	判断は別紙-4参照	ばらつきをき	考慮しない。	は測り	関係の測算 定値が不過 たため、 を たおっを た た。	適切で 監督員が	は測定値あった	係の測定方法又 値が不適切で ため、検査員が による修補指示 た。
	0%	「評価対象項目」 □ 01 仕様書等で定められてませい。 01 仕様書等で定められてまい。 03 基礎処理工要領書をでは、 05 雨水を中枢工を分析を、 06 気象条件を、 10 回 06 気象条件を、 10 回 06 のののを、 10 地級土のののを、 10 地級土のののを、 11 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3備されていることが確認でき、 深盛り立て要領書に示された規 子滑に仕上げられている。 らないように排水対策を実施 「エンが確認できる。 ボコンクリートの打設、締固め がエンが当該現場のものであるこいる は、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	判断基準]	l# 5·	€4V/C₀						
		□ 13 計測機器類が仕様書に従い、適切に設置されている。 評価方法 ①評価の対象項目とする場合は、左口にレマークをいれること。 ②左口をチェックした評価項目数を母数とし、右口をチェックした評価項目数を分子とし、比率(%)で評価する。 ③評価値(%)=(レ)評価数/(レ)対象評価項目数 ④なお、左口をチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。	値	60%以上75%未満 60%未満	50%以下 8 a a' b	a' b b' c	80%を超える b b' c c	b b' c				
			所提案されている事項について 	1		-) 試験結果の打点数 は、評価対象項E](評価値)	だけで判し	断する。	来ない場合 	
	Ⅲ. 出来ばえ ため池工事		梱削工、盛立工ほか) りつけが良い。(掘削工、盛立 タル等)の状態が均一である。 多表面状態が良い。)通りが良い。 :げ等がよい。	□ 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。 立工ほか)		設定条件 該当項目 該当項目	1 0項目以上 9項目 8項目	仕上にに劣・・・・ a・・・ b・・・ c・・・ d	げが悪く、 っている。	. 全体的		

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検査員) 考查項目 細 別 d а е □ 品質管理が優れてい る。 □品質関係が不適切であ □ 品質管理がやや優れて いる。 ■ 他の評価に該当しない。 3. 出来形及び 出来ばえ □ 品質管理がやや不適切である。 Ⅱ. 品質 □ bより優れている。 □ cより優れている。 る。 ●品質関係の、ばらつきの判定。 管水路工事 □ 品質関係の測定方法又 □ 品質関係の測定方法又 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】※ばらつきの判断は別紙-4参照 は測定値が不適切で は測定値が不適切で あったため、監督員が あったため、検査員が O ばらつきが80%を超える。 文書で指示を行い改善 不合格による修補指示 びようではびらつきがびらつきがびらつきがびらつきがびらい<l O ばらつきが80%以下。 ● ばらつきを考慮しない。 された。 を行った。 「評価対象項目」 □ □ 01 仕様書等で定められている品質管理が実施されていることが確認できる。 □ □ 02 材料の規格・品質証明書が整備されていることが確認できる。 0% □ □ 03 管周辺部について仕様書等で示す条件により締固めが実施されている。 □□ 04 管継手部及びマンホール連結部の目地仕上げ、止水シール、止水ゴムが適切に施工されている。 □□05 管上部の埋め戻しにおいて締固めが適切な方法で施工されており、工事終了後の沈下が見られない。 □ □ 06 管の両側面が均等に埋め戻されていることが確認できる。 【判断基準】 □ □ 07 地盤面、基礎面に不陸が生じていないことが確認できる。 ばらつき ばらつきで判断可能 □ □ 08 コンクリート構造物にきめ細かな施工がうかがえる。 で判断不 | 80%以下 | 80%を超える 50%以下 可能 評価方法 90%171 F ①評価の対象項目とする場合は、左口にレマークをいれること。 h h ②左口をチェックした評価項目数を母数とし、右口をチェックした評価項目数を分子とし、比率(%)で評価する。 評 75%以上90%未満 a, h h' h' ③評価値(%)=(レ)評価数/(レ)対象評価項目数 値 |60%以上75%未満 ④なお、左口をチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。 С С 60%未満 ь' С С 注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合 ※総合評価落札方式で技術提案されている事項については、 当該項目から除外する は、評価対象項目(評価値)だけで判断する。 □他の評価に該当しな □仕上げがきめ細かく、全 □ 仕上げがきめ細かく、全体 的に優れている。 仕上げが悪く、全体的 Ⅲ. 出来ばえ 体的にやや優れている。 に劣っている。 管水路工事 「評価対象項目」 □ 01 管の通りが良い。 □ 02 コンクリート構造物の表面状態や通りが良い。 設定条件 □ 03 復旧工や構造物とのすりつけ及び端部処理が良い。 該当項目4項目以上 • • • a □ 04 クラック及び陥没がない。 該当項目3項目 • • • b □ 05 全体的な美観が良い。 · · · c 該当項目2項目 · · · d 該当項目1項目以下

工 事 成 績 採 点 の 考 査 項 目 の 考 査 項 目 別 運 用 表

(検査員) 考查項目 細 別 d a е □品質関係が不適切であ □ 品質管理が優れてい る。 □ 品質管理がやや優れて いる。 3. 出来形及び 出来ばえ ■他の評価に該当しない □ 品質管理がやや不適切である。 Ⅱ. 品質 □ bより優れている。 □ cより優れている。 る。 コンクリートニ ●品質関係の、ばらつきの判定。 次製品水路工事 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> □ 品質関係の測定方法又 □ 品質関係の測定方法又 は測定値が不適切で 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】※ばらつきの判断は別紙-4参照 は測定値が不適切で あったため、監督員が あったため、検査員が びはいまが50%以下。 O ばらつきが80%を超える。 文書で指示を行い改善 不合格による修補指示 びよのきが80%以下。 ● ばらつきを考慮しない。 された。 を行った。 「評価対象項目」 □ □ 01 仕様書等で定められている品質管理が実施されていることが確認できる。 □ □ 02 材料の品質証明書が整備されていることが確認できる。 0% □ □ 03 施工基面が平滑に仕上げられていることが確認できる。 □ □ 04 線形・法面の施工が仕様書等により実施されている。 □□ 05 仕様書で示す条件により、埋戻し・締固めが実施されていることが確認できる。 □ □ 06 護岸等の根入れが図面どおりに実施されていることが確認できる。 □□07コンクリート構造物において、きめ細かな施工がうかがえる。 【判断基準】 □ □ 08 目地が良好に仕上げられている。 ばらつき ばらつきで判断可能 □ □ 09 二次製品の据付に際し、敷きモルタル及び連結部の締め付け等の適正な施工が確認できる。 で判断不 80%以下 80%を超える 50%以下 可能 評価方法 ①評価の対象項目とする場合は、左口にレマークをいれること。 90%以上 a' b а ②左口をチェックした評価項目数を母数とし、右口をチェックした評価項目数を分子とし、比率(%)で評価する。 評 75%以上90%未満 a' h' h' ③評価値(%)=(レ)評価数/(レ)対象評価項目数 值 |60%以上75%未満 ④なお、左口をチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。 b C C C C 注)試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合 ※ 総合評価落札方式で技術提案されている事項については、当該項目から除外する は、評価対象項目(評価値)だけで判断する。 □他の評価に該当しな ■ 仕上げが悪く、全体的 □ 仕上げがきめ細かく、全 □ 仕上げがきめ細かく、全体 的に優れている。 Ⅲ. 出来ばえ 体的にやや優れている。 に劣っている。 コンクリート二 「評価対象項目」 次製品水路工事 □ 01 水路及び土工の通り・仕上げが良い。 □ 02 水路の目地間隔が均一で漏水がない。 設定条件 □ 03 十工及び水路の構造物等へのすりつけが良い。 該当項目6項目以上 • • • a □ 04 コンクリート構造捏の通り及び仕上げが良い。 該当項目5項目 . . . b · · · c □ 05 クラックや破損がない。 該当項目4項目 □ 06 施設の通りが良い。(排水側溝、フェンス等) 該当項目3項目以下 · · · d □ 07 全体的な美観が良い。

沙紙 3-3-50			上 争 戍 稹 秌	: 尽 り 有 笡 垻	し日 切 右 宜 垻	10 日 万	リ 浬 川 衣	•				(使宜貝)
考查項目	細 別	a	a'	b	b'		С		d		,	e
3. 出来形及び 3. 出来ばえ	Ⅱ. 品質	□ 品質管理が優れてい □ る。	□ bより優れている。	□ 品質管理がやや優れて いる。	□ cより優れている。	■ 他の い。	評価に該当しな		質管理が や ある。	ごや不適切	□ 品質関係 □ る。	系が不適切であ
	森林整備工事 (植栽・保育)	●品質関係の、ばらつきの判定 品質関係の試験結果のばら~ 【関連基準、土木工事施工管 ○ ばらつきが50%以下	□ 品質関係の測定方法又 は測定値が不適切で あったため、監督員が 文書で指示を行い改善 された。			□ 品質関係の測定方法3 は測定値が不適切で あったため、検査員か 不合格による修補指示 を行った。						
	0%	「評価対象項目」 □ 01 仕様書で定められている品質管理が実施されていることが確認できる。 □ 02 材料の品質証明書が整備されている。 □ 03 地拵えの施工にあたり、木竹、低木等が地際から丁寧に刈り払い、伐倒されていることが確認できる。 □ 04 伐倒木や枝条等が適切に集積されていることが確認できる。 □ 05 苗木の仮植に当たり、適切な場所を選択し、乾燥を防ぐための措置がなされていることが確認できる □ 06 植栽にあたり、商植、整枝、剪定が適切に行われていることが確認できる。 □ 07 植栽木に損傷や病虫害がないことが確認できる。 □ 08 植栽にあたり、苗木の生育、保管管理に配慮したきめ細かな施工がなされていることが確認できる。 □ 09 施肥及び土壌改良の施工にあたり、苗木の生育に配慮したきめ細かな注意がうかがえる。 □ 10 下刈り、除伐の施工にあたり、植栽木への損傷がなく、低い位置で丁寧に刈(切)払われていることが確認できる。 □ 11 下刈り、除伐の施工にあたり、除伐対象木等の刈(切)残しがないことが確認できる。 □ 12 枝落としの施工にあたり、除伐対象木等の刈(切)残しがないことが確認できる。										
										177 1770	一 で判断不	
		評価方法	担合け ナロにしつ りたいもつ	- L			90%L7 F			h	h h	
		②左口をチェックした評価	 り、除伐の施工にあたり、植栽木への損傷がなく、低い位置で丁寧に刈(切)払われていることが確認できる。 り、除伐の施工にあたり、除伐対象木等の刈(切)残しがないことが確認できる。 としの施工にあたり、樹幹への損傷がなく、切り口がきれいであることが確認できる。 欄整伐の施工にあたり、選木が適切で残存木への損傷もないことが確認できる。 イド防止の施工が適切で、きめ細かく施工されていることが確認できる。 イド防止の施工が適切で、きめ細かく施工されていることが確認できる。 カ対象項目とする場合は、左口にレマークをいれること。 アメリカーをチェックした評価項目数を分子とし、比率(%)で評価する。 値(%)=(し)評価数ノ(レ)対象評価項目数 									
			価数╱(レ)対象評価項目数 た評価項目数が2項目以下の場↑	合はC評価とする。		1.1	60%以上75%未満	b	b'	С	С	
			60%未満		b'	С	С	С				
		※ 総合評価落札方式で技術	所提案されている事項について	は、当該項目から除外する。		汪	:)試験結果の打点数 は、評価対象項[来ない場合	
	Ⅲ. 出来ばえ	□ 仕上げがきめ細かく、全体 □ 的に優れている。		□ 仕上げがきめ細かく、全 体的にやや優れている。		□ 他の い。	評価に該当しな	■仕に	上げが悪く 劣っている	X、全体的 5。		
	森林整備工事 (植栽・保育)	「評価対象項目」 □ 01 植栽、保育作業の仕上 □ 02 伐倒木、枝条等が適り □ 03 植栽木(植生)が健全 □ 04 全体的な美観が良い。	- げが良い。 別に処理されている。 とで、良好な生育が期待できる	0		該当項 該当項	目 2 項目 目 1 項目	• • • a • • • b • • • c				

事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検査員) 考查項目 細 別 d a е □品質関係が不適切であ □ 品質管理が優れてい る。 □ 品質管理がやや優れて いる。 3. 出来形及び 出来ばえ ■他の評価に該当しない □ 品質管理がやや不適切である。 Ⅱ. 品質 □ bより優れている。 □ cより優れている。 る。 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> □ 品質関係の測定方法又 □ 品質関係の測定方法又 は測定値が不適切で 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】※ばらつきの判断は別紙-4参照 は測定値が不適切で あったため、監督員が あったため、検査員が O ばらつきが80%以下。 O ばらつきが80%を超える。 文書で指示を行い改善 不合格による修補指示 びよのきが50%以下。 ● ばらつきを考慮しない。 された。 を行った。 「評価対象項目」 □ □ 01 材料の品質及び形状について、設計図書等に適合していることが確認でき、証明書が整備されている。 □ □ 02 施工基面が図面どおり実施されていることが確認できる。 0% □□03 構造物の中詰等が適切で、裏込材等の吸い出しの恐れがないことが確認できる。 □ □ 04 材料に損傷や補修痕がないことが確認できる。 □ □ 05 構造物の締め付け固定が確実に実施されていることが確認できる。 □ □ 06 端部のすりつけ等、きめ細かい注意がうかがえる。 □□07各工種の特徴、要点を理解し、施工に創意工夫が見られる。 □ □ 08 その他(理由: 【判断基準】 ばらつき ばらつきで判断可能 評価方法 で判断不 ①評価の対象項目とする場合は、左口にレマークをいれること。 50%以下 80%以下 80%を超える 可能 ②左口をチェックした評価項目数を母数とし、右口をチェックした評価項目数を分子とし、比率(%)で評価する。 ③評価値(%)=(レ)評価数/(レ)対象評価項目数 90%以上 а b ④なお、左口をチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。 評 75%以上90%未満 a' b' b' ь' 60%以上75%未満 b С С 値 60%未満 h' С 注)試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合 ※ 総合評価落札方式で技術提案されている事項については、当該項目から除外する。 は、評価対象項目(評価値)だけで判断する。 ■ 仕上げが悪く、全体的 □ 仕上げがきめ細かく、全 □ 仕上げがきめ細かく、全体 的に優れている。 他の評価に該当しな Ⅲ. 出来ばえ 体的にやや優れている。 に劣っている。 木製構造物工事 「評価対象項目」 □ 01 通りがよく、バランスが保たれている。 □ 02 金具等規格にあったものが使用され統一性がよい。 設定条件 □ 03 形状・寸法等が確保され統一性が良い。 該当項目3項目以上 • • • a · · · b □ 04 コンクリート構造物へのすり付け等がよい。 該当項目2項目 該当項目1項目 · · · c · · · d 該当項目なし

川紙 3-3-52			工事成績採	そ点の考査項	見目の考査項	良目り	別 運 用 表					(検査員)
考查項目	細 別	a	a'	b	b'		С		d			е
3・出来形及び 3・出来ばえ	Ⅱ. 品質	□ 品質管理が優れている。 □ 品質管理がやや優れて □ cより優れている。 ■ 他の評価に該当しないる。								やや不適切	□ 品質関係	係が不適切であ
	 ○品質関係の、ばらつきの判定。 品質関係の、ばらつきの判定。 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】※ばらつきの判断は別紙-4参照 ○ ばらつきが50%以下。 ○ ばらつきが80%以下。 ○ ばらつきが80%を超える。 ● ばらつきを考慮しない。 										は測定しあった	係の測定方法又 値が不適切で ため、検査員が による修補指示 た。
「評価対象項目」 □ 01 柵の配置、締付固定が適切に実施されていることが確認できる。 □ 02 柵の配置、締付固定が適切に実施されていることが確認できる。 □ 03 植栽木 (苗木) の規格が揃っており、損傷や病虫害がないことが確認できる。 □ 04 植栽間隔、植栽方法、時期、範囲が適切であることが確認できる。 【つり橋】 □ 05 アンカー、ワイヤーロープの品質証明書が整備されている。 □ 06 土砂アンカー、場アンカーに規定の引張強度が確認できる。 □ 07 ワイヤーロープの規定角度が適切であることが確認できる。 【人柵】 □ 08 土工は、過掘りがなく、構造物周辺の締固、残土処理等が適切であることが確認できる。 □ 09 設計図書に基づくコンクリートの配合試験、又は試験練が行われており、適切なコンクリートの規格が確認できる。 □ 10 コンクリートの強度・スランプ・空気量等が確認でき、また、運搬時間、打設時の投入高さ、バイブレーターによる締固、養生方法等を適切に行っていることも確認できる。												
	評価方法 ①評価の対象項目とする場合は、左口にレマークをいれること。 ②左口をチェックした評価項目数を母数とし、右口をチェックした評価項目数を分子とし、比率(%)で評価する。 ③評価値(%)=(レ)評価数/(レ)対象評価項目数 ④なお、左口をチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。							lばが 50%以下 a a'	うつきで判 80%以下 a' b	断可能 80%を超える b	ばらつき 一で判断不 可能 b	
		※ 総合評価落札方式で技術	が提案されている事項について	- は、当該項目から除外する。			価値 60%以上75%未満 60%未満 注)試験結果の打点数	b b' 女等が少な			С	
	Ⅲ. 出来ばえ なだれ柵工事等	★)だけで¥ 上げが悪く おっている	、全体的		

(検査員)

考查項目	細 別	a	a'	b	b '	С	d	e
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅱ. 品質	□ 品質管理が優れてい □ る。	□ bより優れている。	□ 品質管理がやや優れて いる。	□ cより優れている。	■ 他の評価に該当しな い。	□ 品質管理がやや不適切 である。	□ 品質関係が不適切であ □ る。
	治山山腹工事・ 主にコンクリー ト工事を主体と しない地滑り・ 堰堤工事		 つきと評価対象項目の履行状況 管理基準、その他設計図書に定	□ 品質関係の測定方法又 は測定値が不適切で あったため、監督員が 文書で指示を行い改善 された。	□ 品質関係の測定方法又 は測定値が不適切で あったため、検査員が 不合格による修補指示 を行った。			
		「評価対象項目」 【土工事】 □□ 01 雨水等による崩壊が起こい。 10 段切り等でが施工ののとという。 10 段切り等でのためめめ固め 10 回回 03 構造物のには、 10 回回 05 設計図書によりでは、 10 回回 10 護岸工事 11 速中では、 10 回回 12 株田では、 10 回回 14 吹けががれば、 10 回回 14 吹けができた。 11 本のには、 10 回回 15 枠内には、 10 回回 15 枠	ばらつきで判断可能	lf らつき で判断不				
		②左口をチェックした評価 ③評価値(%)=(レ)評 ④なお、左口をチェックし	が場合は、左□にレマークをいれる 近項目数を母数とし、右口をチェッ に価数グ(レ)対象評価項目数 た評価項目数が2項目以下の場 が提案されている事項について	50%以下 80%以下 80%を超え a a' b b b' c b' c c 等が少なくばらつきの判断が出く評価値)だけで判断する。	b ' c c c			
	Ⅲ . 出来ばえ	□ 仕上げがきめ細かく、全体 的に優れている。		□ 仕上げがきめ細かく、全 体的にやや優れている。		□ 他の評価に該当しな い。	■ 仕上げが悪く、全体的 に劣っている。	
	治山山腹工事・ 主にコンクリー ト工事を主体と しない地滑り・ 堰堤工事	「評価対象項目」 □ 01 土工の通り、仕上げえ □ 02 材料のかみ合わせ、 □ 03 天端、端部の仕上げえ □ 04 既構造物とのすり付む □ 05 全体的な美観が良い。	主鋼構造物の通りが良く、連結 が良い。 けが良い。	状況も良好である。		該当項目3項目 該当項目2項目	· · a · · b · · c · · d	
	•							

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

								(八五八)
考查項目	細 別	a	a'	b	b'	С	d	е
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅱ. 品質	□ 品質管理が優れてい □ る。	□ 品質管理がbより優れ ている。	□ 品質管理がやや優れている。	□ 品質管理がcより優れ ている。	■ 品質管理が他の評価に 該当しない。	□ 品質管理がやや不適切 □ である。	□ 品質管理が不適切であ る。
	土木その他工事 (取り壊し工)	□ 02 受注者の管理記録が割□ 03 不可視部分の写真記録□ 04 その他(理由:□ 05 その他(理由: 判断基準 上記該当項目を総合的に	りられた計画により管理された を備されていることが確認でき えが適切であることが確認でき 判断して、a、a'、b、b'、c 事 技術提案されている事項につい	る。 る。 呼価を行う。	○ b:品質管理/ ○ b':品質管理/ ○ c:品質管理/ ○ d:品質管理/ ○ e:品質管理/	がbより優れている。 がやや優れている。 がcより優れている。 が他の評価に該当しない。 がやや不適切である。	□ 品質関係の測定方法又 は測定値が不適切で あったため、監督員が 文書で指示を行い改善 された。	□ 品質関係の測定方法又 は測定値が不適切で あったため、検査員が 不合格による修補指示 を行った。
	Ⅲ. 出来ばえ	□ 仕上げがきめ細かく、全体 的に優れている。		□ 仕上げがきめ細かく、全 体的にやや優れている。		□ 他の評価に該当しな い。	■ 仕上げが悪く、全体的 に劣っている。	
	土木その他工事 (取り壊し工)	「評価対象項目」 □ 01 きめ細やかな施工がさ □ 02 既存部分や関連設備と □ 03 取壊し後の整地等仕」 □ 04 取壊し対象(リサイク	の調整がなされている。	等がなく処理が適切である。		該当項目2項目 該当項目1項目	· · · · a · · · · b · · · · c · · · d	

(給杏昌)

与 宜 垻 日	邢 万リ	а	a	D	D	C	α	е					
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅱ. 品質	□ 品質管理が優れている。	□ bより優れている。	□ 品質管理がやや優れて いる。	□ cより優れている。	■ 他の評価に該当しない	□ 品質管理がやや不適切 である。	□ 品質関係が不適切であ る。					
	側溝補修工事		つきと評価対象項目の履行状況 管理基準、その他設計図書に定	められた試験】※ばらつきの	判断は別紙ー4参照	ばらつきを考慮しない。	□ 品質関係の測定方法又 □ 品質関係の測定方法又 は測定値が不適切で は測定値が不適切で あったため、監督員が あったため、検査員が 文書で指示を行い改善 不合格による修補指示						
			· 0 (46-75 / 160)	文書で指示を行い改善 された。	を行った。								
	「評価対象項目												
		□ □ 22 塗料の空缶管理が、写 【標識・防護柵】	真等で確実に空であることが研	雀認できる。		【判断		で判断可能 ばらつき					
		□ □ 23 防護柵設置要綱、視線	誘導標設置基準、道路標識ハン	ドブック等の規定に従い適切り	こ施工し、規格値を満足してい	る。		で判断不					
		②左口をチェックした評価	場合は、左口にレマークをいれる 「項目数を母数とし、右口をチェッ 価数/(レ)対象評価項目数		率(%)で評価する。		以上 a a' 以上90%未満 a' b	下 80%を超える 可能 b b b' b'					
			た評価項目数が2項目以下の場	合はC評価とする。		"=	以上75%未満 b b'	ССС					
							未満 b' c 乗結果の打点数等が少なくばら	c c c 7 7 7 7 7 7 7					
		※ 総合評価洛札力式で技術	析提案されている事項について 	は、当該項目から除外する。		lä.	評価対象項目(評価値)だけ 						
	Ⅲ. 出来ばえ	□ 仕上げがきめ細かく、全体 的に優れている。		□ 仕上げがきめ細かく、全 体的にやや優れている。		□ 他の評価に該当しな い。	■ 仕上げが悪く、全体的 に劣っている。						
	側溝補修工事	「評価対象項目」 □ 01 ±工の通り、仕上げか □ 02 コンクリート構造物の □ 03 小構造物にも細心の注 □ 04 雨水処理が良い。	D通りが良い、肌が良い。 E意が払われ、きめ細やかな施 Eが良い。(1路線で舗装延長10 ⊃けや端部処理が良い。	工がなされている。	合は平坦性試験)	設定条件 該当項目 6 項目以上	· · · · a · · · · b · · · · c · · · d						

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

加机 3 3 3 0				に尽り有重複	、日 ツ 与 耳 歩	7 日 別 埋 用 衣	•	(快旦貝)
考查項目	細 別	a	a'	b	b'	С	d	e
3. 出来形及び 出来ばえ	II. 品質	□ 品質管理が優れてい □ る。	□ 品質管理がbより優れ □ ている。	□ 品質管理がやや優れて いる。	□ 品質管理がcより優れ □ ている。	■ 品質管理が他の評価に 該当しない。	□ 品質管理がやや不適切 □ である。	□ 品質関係が不適切であ る。
	上記以外の工事 または合併工事 (ばらつきに よる評価が不適 切な工事)	または合併工事 (ばらつきに よる評価が不適 □ 01 (理由:			○ b:品質管理 ○ b':品質管理 ● c:品質管理 ○ d:品質管理 ○ e:品質管理)))))))) が優れている。 があより優れている。 がやや優れている。 むがとなり優れている。 が他の評価に該当しない。 がや不適切である。 が不適切である。	□ 品質関係の測定方法又 は測定値が不適切で あったため、監督員が 文書で指示を行い改善 された。	□ 品質関係の測定方法又 は測定値が不適切で あったため、検査負が 不合格による修補指示 を行った。
	Ⅲ. 出来ばえ	□ 仕上げがきめ細かく、全体 □ 的に優れている。		□ 仕上げがきめ細かく、全 体的にやや優れている。		□ 他の評価に該当しな い。	■ 仕上げが悪く、全体的 に劣っている。	
	上記以外の工事 または合併工事 (ばらつきに よる評価が不適 切な工事)	「評価対象項目」 □ 01 (理由: □ 02 (理由: □ 03 (理由: □ 04 (理由: □ 05 (理由:))))	該当項目3項目 該当項目2項目	· · · a · · · b · · · c · · · d

事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

別紙 3-3-57 (検査員) 考查項目 細 別 d a е □ 品質管理が優れてい る。 □ 品質関係が不適切であ 3. 出来形及び 出来ばえ □ 品質管理がbより優れている。 □ 品質管理がやや優れている。 □ 品質管理がcより優れている。 ■ 品質管理が他の評価に 該当しない。 □ 品質管理がやや不適切である。 Ⅱ. 品質 る。 土木その他工事 <a>●品質関係の、ばらつきの判定。 または 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> □ 品質関係の測定方法又 □ 品質関係の測定方法又 合併工事 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】※ばらつきの判断は別紙-4参照 は測定値が不適切で は測定値が不適切で あったため、監督員が あったため、検査員が 文書で指示を行い改善 不合格による修補指示 ○ ばらつきが50%以下。 びらつきが80%以下。 びらつきが80%を超える。 ● ばらつきを考慮しない。 された。 を行った。 「評価対象項目」 □ 01 (理由: □ 02 (理由: 0% □ □ 02 (理由: □ □ 03 (理由: □ □ 04 (理由: □ □ 05 (理由: □ □ 06 (理由: □ □ 07 (理由: 【判断基準】 ばらつき ばらつきで判断可能 評価方法 で判断不 ①評価の対象項目とする場合は、左口にレマークをいれること。 50%以下 80%以下 | 80%を超える 可能 ②左口をチェックした評価項目数を母数とし、右口をチェックした評価項目数を分子とし、比率(%)で評価する。 90%以上 b а ③評価値(%)=(レ)評価数/(レ)対象評価項目数 ④なお、左口をチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。 評 75%以上90%未満 a' ь' b' 值 60%以上75%未満 b' b С С b' 60%未満 注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合 ※ 総合評価落札方式で技術提案されている事項については、当該項目から除外する。 は、評価対象項目(評価値)だけで判断する。 □他の評価に該当しな ■ 仕上げが悪く、全体的 □ 仕上げがきめ細かく、全 □ 仕上げがきめ細かく、全体 的に優れている。 Ⅲ. 出来ばえ 体的にやや優れている。 に劣っている。 「評価対象項目」 その他の工事 01 (理由: 又は □ 02 (理由: 合併工事 □ 03 (理由: □ 04 (理由: 05 (理由: 設定条件 該当項目4項目以上 • • • a . . . b 該当項目3項目 · · · c 該当項目2項目 該当項目1項目以下 · · · d